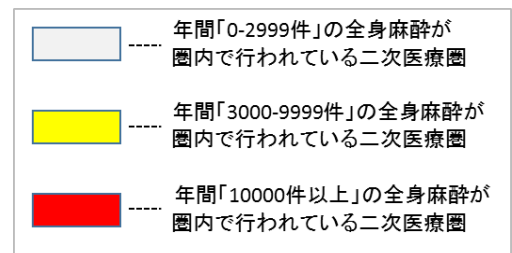
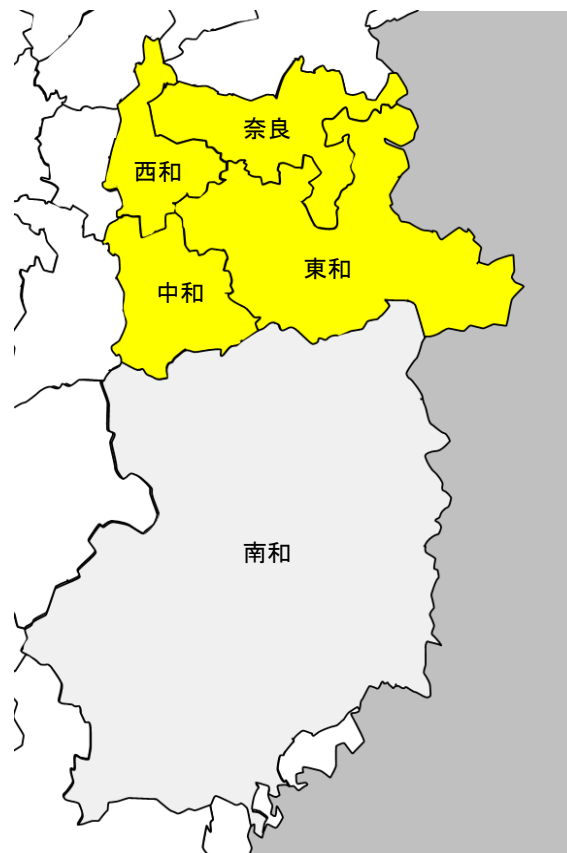


# 29. 奈良県

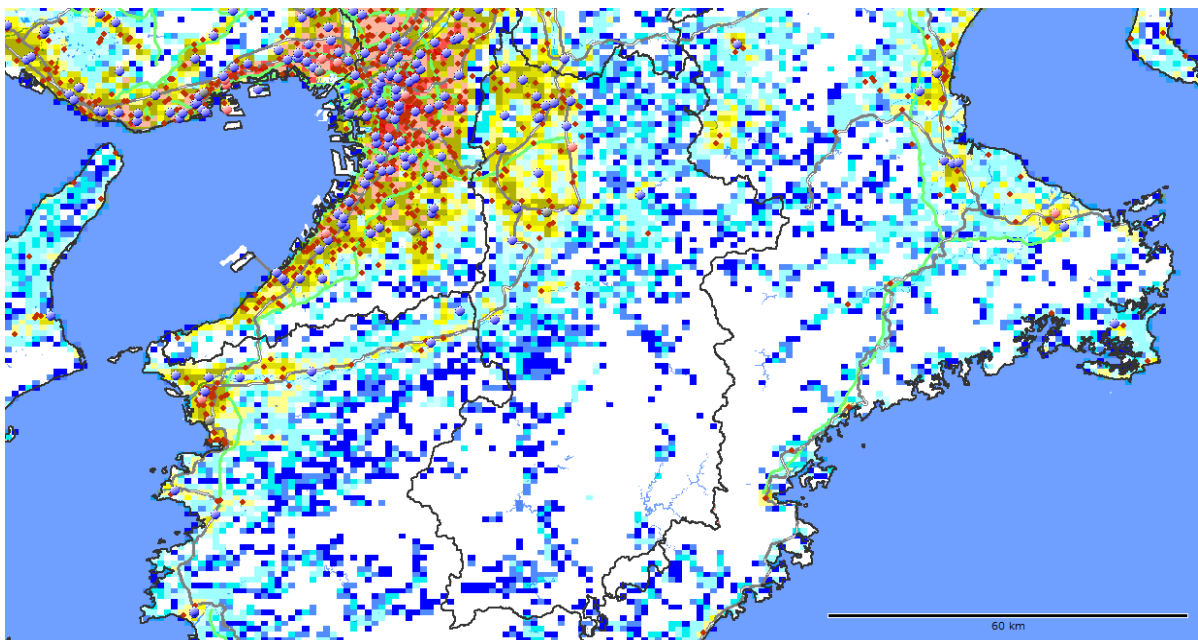


目次

奈良県	29	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	29	-	8
1. 奈良医療圏	29	-	20
2. 東和医療圏	29	-	25
3. 西和医療圏	29	-	30
4. 中和医療圏	29	-	35
5. 南和医療圏	29	-	40

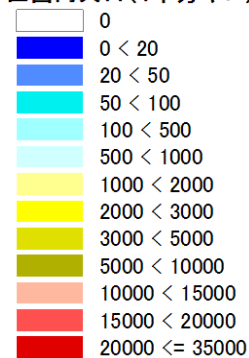
# 29. 奈良県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



## (奈良県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 奈良県は、総人口約1,364千人(2015年)、面積3,691km<sup>2</sup>、人口密度は370人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 奈良県の総人口は2025年に1,265千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に1,066千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の182千人が、2025年にかけて256千人へと増加し(2015年比+41%)、2040年には250千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 奈良県の一人当たり医療費(国保)は343千円(偏差値49)、介護給付費は233千円(偏差値45)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 奈良県の一人当たり急性期医療密度指数は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数は0.88で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が50(病院医師数50、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値57と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 奈良県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、19,475人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が11,971床(偏差値54)、高齢者住宅等が7,504床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、15,568人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム51、軽費ホーム54、グループホーム48、サ高住47である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、3,085人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

奈良県の総人口は、2005年1,421,310人が、2015年に1,364,316人と4%減少し、2025年の人口が1,264,574人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

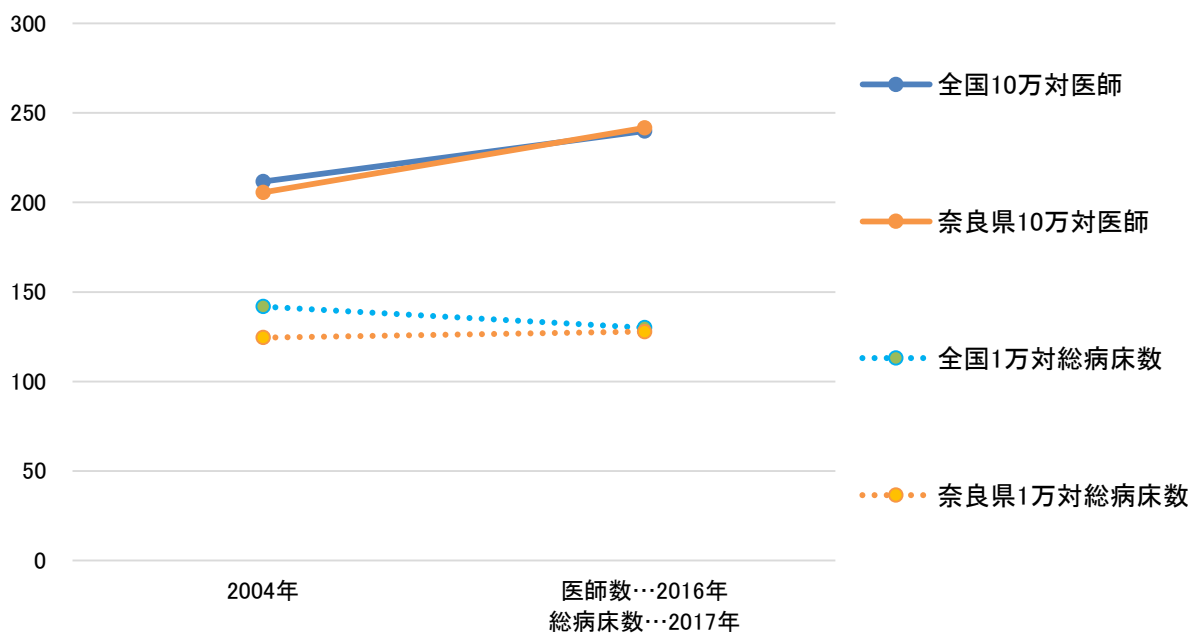
2004年の病院数が79(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2017年に79(人口10万人当たり5.8病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が1,084(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2017年に1,204(人口10万人当たり88診療所(全国平均80)偏差値54)と、120診療所が増加した。

2004年の総病床数が17,696床(人口1万人当たり125(全国平均142)偏差値47)であったが、2017年に17,448床(人口1万人当たり128(全国平均130)偏差値50)と、248床の減少、率にして1%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

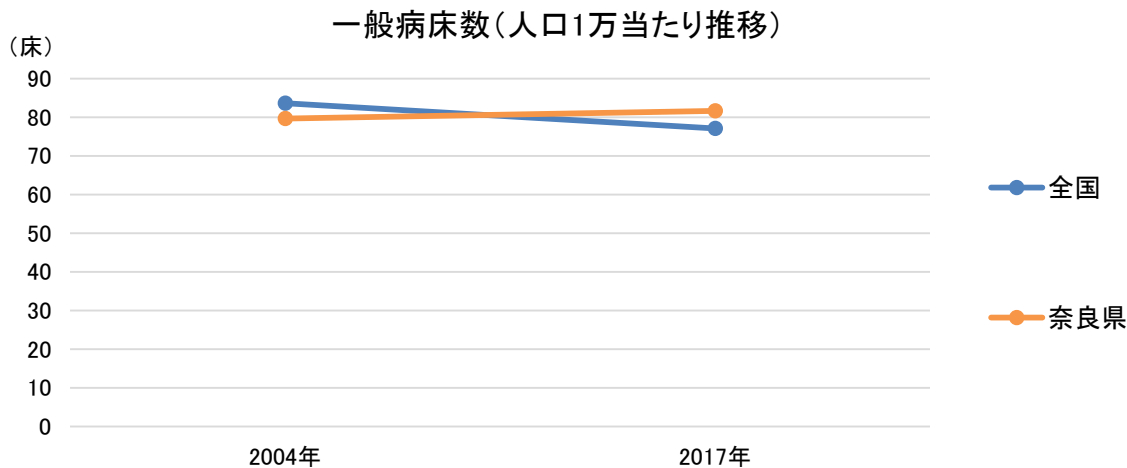
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,923人(人口10万人当たり206人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2016年に3,297人(人口10万人当たり242人(全国平均240人)偏差値50)と、374人の増加、率にして13%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



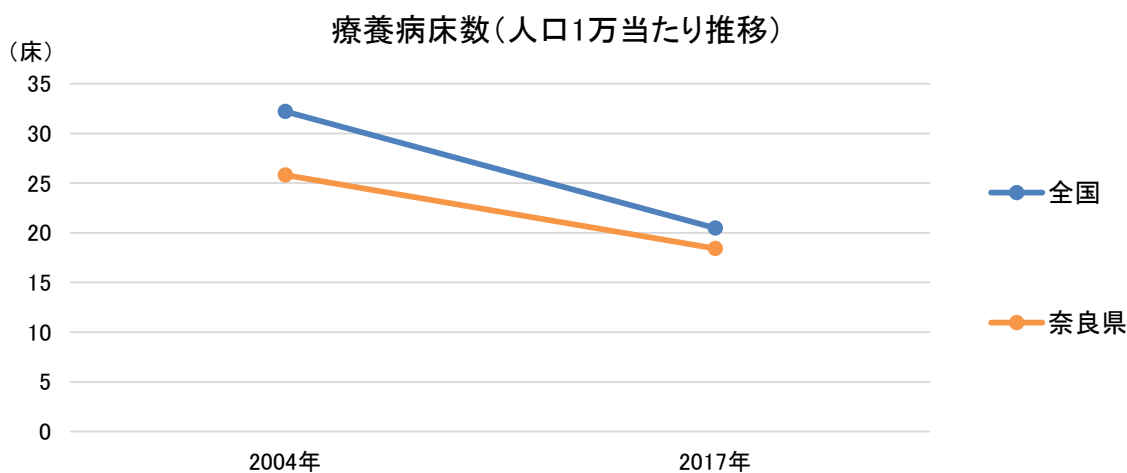
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が11,319床(人口1万人当たり80(全国平均84)偏差値49)であったが、2017年に11,142床(人口1万人当たり82(全国平均77)偏差値52)と、177床の減少、率にして2%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



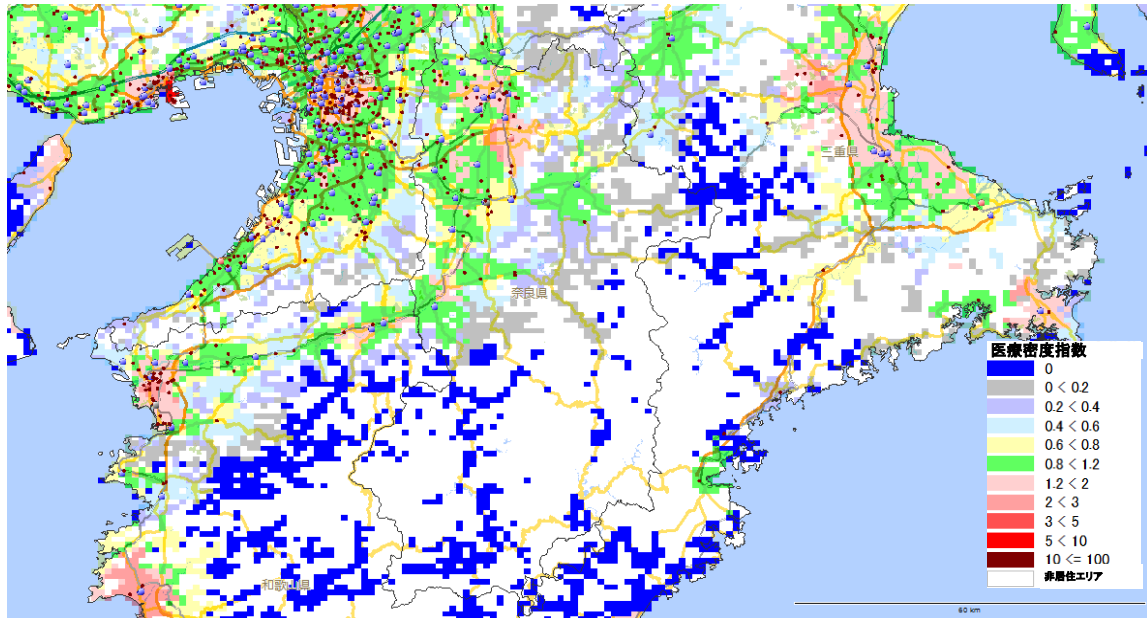
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,260床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均32)偏差値46)であったが、2017年に3,358床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値48)と、98床の増加、率にして3%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



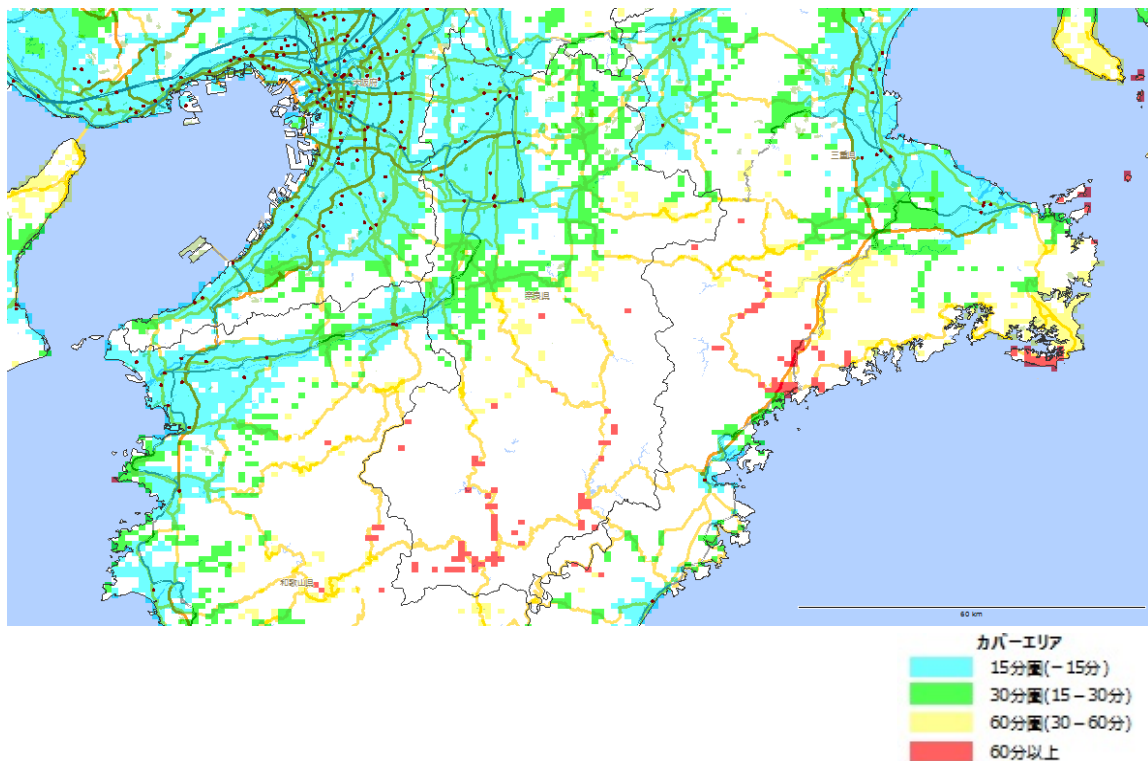
## (奈良県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表29-1 急性期医療密度指数マップ



図表29-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 29-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
奈良県	1,364	30位	3,691	40位	369.6		29%	1,265	1,066	182	256	250	-7%	-16%	41%	-2%
奈良	360	26%	277	8%	1,301.0	地方都市型	29%	341	297	48	71	71	-5%	-13%	48%	0%
東和	210	15%	658	18%	318.9	地方都市型	29%	187	149	30	38	36	-11%	-20%	27%	-5%
西和	346	25%	168	5%	2,050.6	大都市型	29%	324	273	44	67	63	-6%	-16%	52%	-6%
中和	376	28%	241	7%	1,562.3	地方都市型	27%	357	311	45	66	66	-5%	-13%	47%	0%
南和	73	5%	2,347	64%	30.9	過疎地域型	37%	57	37	15	15	13	-22%	-35%	0%	-13%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資\_図表 29-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
奈良県	0.85	0.88	17,629	20,665	-17.2%
奈良	0.99	0.87	4,224	5,595	-32.5%
東和	0.74	0.91	2,775	3,120	-12.4%
西和	0.77	0.76	5,029	5,362	-6.6%
中和	0.86	0.64	4,175	5,336	-27.8%
南和	0.79	1.32	1,426	1,252	12.2%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) ) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				



資\_図表 29-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)			被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
奈良県	343	49	0.966	131	49	0.958	188	50	0.969	233	45
奈良	344	49	0.955	129	49	0.932	189	50	0.965	237	46
東和	323	45	0.936	122	46	0.921	179	44	0.952	257	51
西和	367	55	0.994	141	53	0.996	199	56	0.989	216	39
中和	333	47	0.961	127	48	0.954	181	46	0.962	216	40
南和	350	51	0.992	137	51	1.001	191	51	0.995	293	62
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資\_図表 29-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
奈良県	907	49	0.990	447	49	0.981	427	50	1.000
奈良	913	50	1.003	448	49	0.989	428	50	1.010
東和	839	43	0.906	405	45	0.873	406	45	0.947
西和	926	51	1.020	446	49	0.994	444	54	1.044
中和	937	51	1.023	471	51	1.042	433	52	1.007
南和	883	47	0.941	456	50	0.959	399	43	0.928
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 29-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
奈良県	79	0.9%	5.8	48	1,204	1.2%	88	54
奈良	23	29%	6.4	49	386	32%	107	64
東和	12	15%	5.7	48	157	13%	75	47
西和	18	23%	5.2	47	278	23%	80	50
中和	21	27%	5.6	48	313	26%	83	52
南和	5	6%	6.9	51	70	6%	96	59
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 29-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
奈良県	1,204	1.2%	88	54	1,165	1.2%	85	56	39	0.5%	2.9	45
奈良	386	32%	107	64	378	32%	105	66	8	21%	2.2	44
東和	157	13%	75	47	148	13%	71	48	9	23%	4.3	48
西和	278	23%	80	50	270	23%	78	52	8	21%	2.3	44
中和	313	26%	83	52	303	26%	81	53	10	26%	2.7	45
南和	70	6%	96	59	66	6%	91	59	4	10%	5.5	50
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 29-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(48.1)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(53.7)
奈良県	16,962	1.1%	1,243	50	486	0.5%	36	46	17,448	1.1%	1,279	50
奈良	4,388	26%	1,218	50	104	21%	29	45	4,492	26%	1,247	49
東和	2,621	15%	1,250	51	107	22%	51	47	2,728	16%	1,301	50
西和	4,197	25%	1,215	50	96	20%	28	45	4,293	25%	1,243	49
中和	5,185	31%	1,378	53	120	25%	32	45	5,305	30%	1,410	52
南和	571	3%	787	41	59	12%	81	50	630	4%	868	42
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 29-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
奈良県	10,682	1.2%	783	54	3,332	1.0%	244	49	2,890	0.9%	212	48
奈良	2,976	28%	826	56	784	24%	218	48	587	20%	163	45
東和	2,051	19%	978	62	480	14%	229	49	86	3%	41	40
西和	2,513	24%	727	51	848	25%	245	49	836	29%	242	49
中和	2,777	26%	738	52	1,018	31%	271	51	1,381	48%	367	55
南和	365	3%	503	41	202	6%	278	51	0	0%	0	38
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 29-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数				地域包括 ケア 病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
奈良県	1,288	1.6%	94	57	1,111	1.5%	81	54
奈良	362	28%	100	58	333	30%	92	55
東和	254	20%	121	62	236	21%	113	59
西和	315	24%	91	56	272	24%	79	53
中和	321	25%	85	55	241	22%	64	51
南和	36	3%	50	47	29	3%	40	47
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資\_図表 29-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
奈良県	4,316	3,845	91	12,561	6,824	3,142	36.0%	47	2.8%	49
奈良	1,074	998	0	3,414	2,043	784	32.8%	46	0.0%	48
東和	496	496	0	2,040	1,555	438	24.2%	42	0.0%	48
西和	1,016	833	0	3,156	1,637	866	33.7%	46	0.0%	48
中和	1,312	1,195	0	3,753	1,582	898	43.0%	49	0.0%	48
南和	418	323	91	198	7	156	97.9%	70	36.8%	64
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 29-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
奈良県	26,148	0.7%	1,917	45	7,128	0.8%	522	42
奈良	7,368	28%	2,045	46	1,644	23%	456	40
東和	4,668	18%	2,226	47	1,464	21%	698	49
西和	6,048	23%	1,750	45	996	14%	288	33
中和	7,272	28%	1,933	45	3,024	42%	804	53
南和	792	3%	1,091	42	0	0%	0	22
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資\_図表 29-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
奈良県	3,297	1.1%	242	50	2,191	1.1%	161	50	1,106	1.1%	81	50
奈良	919	28%	255	52	534	24%	148	48	385	35%	107	61
東和	563	17%	268	53	419	19%	200	56	144	13%	69	45
西和	655	20%	190	44	403	18%	117	44	252	23%	73	47
中和	1,038	31%	276	54	771	35%	205	56	267	24%	71	46
南和	122	4%	168	42	64	3%	88	40	58	5%	80	50
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 29-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
奈良県	271	1.2%	19.9	52	117	0.9%	8.6	46	115	1.0%	8.4	49
奈良	64	24%	17.8	50	36	31%	10.0	49	42	37%	11.7	57
東和	58	21%	27.7	61	21	18%	10.0	49	15	13%	7.2	46
西和	56	21%	16.2	48	21	18%	6.1	40	20	17%	5.8	42
中和	77	28%	20.5	53	37	32%	9.8	48	35	30%	9.3	51
南和	16	6%	22.0	55	2	2%	2.8	33	3	3%	4.1	38
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 29-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
奈良県	63	1.1%	4.6	51	108	1.1%	7.9	51	99	1.3%	7.3	55
奈良	26	41%	7.2	63	39	36%	10.8	60	28	28%	7.8	57
東和	8	13%	3.8	47	17	16%	8.1	51	16	16%	7.6	56
西和	12	19%	3.5	46	22	20%	6.4	46	20	20%	5.8	49
中和	15	24%	4.0	48	27	25%	7.2	48	34	34%	9.0	61
南和	2	3%	2.8	42	3	3%	4.1	39	1	1%	1.4	32
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 29-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
奈良県	107	1.2%	7.8	52	222	1.0%	16.3	49	233	1.4%	17.1	59
奈良	32	30%	8.9	55	48	22%	13.3	45	69	30%	19.2	63
東和	7	7%	3.3	39	51	23%	24.3	61	37	16%	17.6	60
西和	27	25%	7.8	52	46	21%	13.3	45	51	22%	14.8	54
中和	41	38%	10.9	61	73	33%	19.4	54	67	29%	17.8	60
南和	0	0%	0	29	4	2%	5.5	34	9	4%	12.4	49
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 29-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
奈良県	89	1.5%	6.5	59	74	1.1%	5.4	50	83	1.5%	6.1	55
奈良	28	31%	7.8	64	18	24%	5.0	49	18	22%	5.0	52
東和	14	16%	6.7	59	10	14%	4.8	48	21	25%	10.0	68
西和	17	19%	4.9	51	20	27%	5.8	52	13	16%	3.8	48
中和	25	28%	6.6	59	23	31%	6.1	53	30	36%	8.0	61
南和	5	6%	6.9	60	3	4%	4.1	45	1	1%	1.4	40
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 29-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
奈良県	72	1.0%	5.3	49	22	1.4%	1.6	54	48	1.3%	3.5	53
奈良	21	29%	5.8	51	7	32%	1.9	57	19	40%	5.3	62
東和	7	10%	3.3	43	4	18%	1.9	57	4	8%	1.9	44
西和	14	19%	4.1	45	3	14%	0.9	46	8	17%	2.3	47
中和	27	38%	7.2	55	8	36%	2.1	59	16	33%	4.3	57
南和	3	4%	4.1	46	0	0%	0	37	1	2%	1.4	42
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資\_図表 29-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
奈良県	19	0.9%	1.4	48	26	1.0%	1.9	49
奈良	7	37%	1.9	52	6	23%	1.7	48
東和	2	11%	1.0	44	6	23%	2.9	56
西和	4	21%	1.2	46	2	8%	0.6	40
中和	6	32%	1.6	49	10	38%	2.7	55
南和	0	0%	0	37	2	8%	2.8	56
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 29-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
奈良県	11,014	1.0%	807	47	9,410	1.0%	690	49	1,604	0.7%	118	42
奈良	2,767	25%	768	45	2,305	24%	640	47	462	29%	128	43
東和	1,922	17%	916	51	1,695	18%	808	54	227	14%	108	40
西和	2,635	24%	763	45	2,239	24%	648	47	396	25%	114	41
中和	3,235	29%	860	49	2,853	30%	758	51	382	24%	101	39
南和	455	4%	628	40	318	3%	438	38	138	9%	190	52
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 29-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
奈良県	1,566	1.1%	115	51	2,791	0.9%	205	47
奈良	417	27%	116	51	808	29%	224	49
東和	352	22%	168	60	388	14%	185	45
西和	356	23%	103	49	743	27%	215	48
中和	405	26%	108	50	765	27%	203	47
南和	37	2%	50	40	87	3%	120	38
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資\_図表 29-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
奈良県	161	1.1%	0.9	50	11	0.8%	0.1	47	144	1.3%	0.8	55
奈良	40	25%	0.8	49	4	36%	0.1	50	45	31%	0.9	62
東和	27	17%	0.9	51	2	18%	0.1	47	18	13%	0.6	47
西和	40	25%	0.9	51	2	18%	0.0	44	39	27%	0.9	60
中和	48	30%	1.1	54	1	9%	0.0	41	34	24%	0.7	53
南和	6	4%	0.4	39	2	18%	0.1	57	8	6%	0.5	44
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資\_図表 29-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
奈良県	19,475	1.1%	107	52	11,971	1.2%	66	54	7,504	1.1%	41	49
奈良	5,124	26%	106	51	2,841	24%	59	48	2,283	30%	47	53
東和	2,912	15%	97	46	1,934	16%	65	53	978	13%	33	44
西和	5,489	28%	125	63	2,780	23%	63	52	2,709	36%	62	62
中和	4,515	23%	100	47	3,143	26%	69	56	1,372	18%	30	42
南和	1,435	7%	98	47	1,273	11%	87	71	162	2%	11	30
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 29-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
奈良県	4,483	1.2%	25	54	6,885	1.2%	38	53	603	1.0%	3.3	49
奈良	1,048	23%	22	49	1,621	24%	34	48	172	29%	3.6	50
東和	610	14%	20	46	1,240	18%	41	56	84	14%	2.8	48
西和	1,046	23%	24	52	1,485	22%	34	49	249	41%	5.7	55
中和	1,419	32%	31	65	1,702	25%	38	52	22	4%	0.5	42
南和	360	8%	25	54	837	12%	57	72	76	13%	5.2	54
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 29-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
奈良県	2,769	1.2%	15.2	51	422	1.8%	2.3	54	2,066	1.0%	11.3	48
奈良	724	26%	15.0	50	110	26%	2.3	54	549	27%	11.3	48
東和	230	8%	7.7	44	202	48%	6.7	75	409	20%	13.7	52
西和	1,410	51%	32.1	66	80	19%	1.8	52	490	24%	11.2	48
中和	405	15%	8.9	45	30	7%	0.7	46	465	23%	10.2	46
南和	0	0%	0	37	0	0%	0	43	153	7%	10.5	47
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 29-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)
奈良県	2,247	1.0%	12.3	47	401	1.8%	2.2	55	1,846	0.9%	10.1	46
奈良	900	40%	18.6	56	0	0%	0	43	900	49%	18.6	59
東和	137	6%	4.6	36	0	0%	0	43	137	7%	4.6	38
西和	729	32%	16.6	53	269	67%	6.1	76	460	25%	10.5	46
中和	472	21%	10.4	45	132	33%	2.9	59	340	18%	7.5	42
南和	9	0%	0.6	31	0	0%	0	43	9	0%	0.6	32
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 29-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
奈良県	2,012	1.2%	11.0	52	1,366	1.1%	7.5	51	645	1.3%	3.5	54
奈良	558	28%	11.5	54	349	26%	7.2	49	209	32%	4.3	61
東和	277	14%	9.2	44	199	15%	6.7	46	78	12%	2.6	45
西和	541	27%	12.3	58	375	27%	8.5	56	166	26%	3.8	56
中和	477	24%	10.5	50	318	23%	7.0	48	159	25%	3.5	53
南和	158	8%	10.9	51	125	9%	8.6	56	34	5%	2.3	42
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 29-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
奈良県	18,652	1.2%	102	58	15,568	1.2%	85	56	3,085	1.4%	16.9	56
奈良	5,103	27%	105	61	4,052	26%	84	54	1,051	34%	21.7	65
東和	2,861	15%	96	53	2,493	16%	83	54	368	12%	12.3	48
西和	4,511	24%	103	58	3,766	24%	86	56	745	24%	17.0	56
中和	4,847	26%	107	62	4,091	26%	90	60	756	25%	16.7	55
南和	1,330	7%	91	49	1,165	7%	80	51	165	5%	11.3	46
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 29-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
奈良県	10,735	0.9%	59	45	6,262	1.2%	34	52	17,956	1.5%	99	59
奈良	4,563	43%	94	55	2,318	37%	48	63	5,943	33%	123	68
東和	1,723	16%	58	45	775	12%	26	46	2,587	14%	86	54
西和	2,402	22%	55	44	1,422	23%	32	51	4,204	23%	96	58
中和	1,750	16%	39	40	1,394	22%	31	50	4,189	23%	92	57
南和	297	3%	20	34	353	6%	24	45	1,033	6%	71	49
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 29-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
奈良県		1,421,310	1,364,316	-4%	1,264,574	-11%	12%	4%	16%
奈良	地方都市型	370,102	360,310	-3%	341,193	-8%	15%	7%	23%
東和	地方都市型	228,586	209,741	-8%	186,720	-18%	5%	-1%	4%
西和	大都市型	351,929	345,503	-2%	323,602	-8%	17%	6%	24%
中和	地方都市型	380,851	376,197	-1%	356,559	-6%	15%	6%	22%
南和	過疎地域型	89,842	72,565	-19%	56,500	-37%	-8%	-12%	-19%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資\_図表 29-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
奈良県	79	5.6	46	79	5.8	48	0	0%
奈良	21	5.7	46	23	6.4	49	2	10%
東和	14	6.1	47	12	5.7	48	-2	-14%
西和	20	5.7	46	18	5.2	47	-2	-10%
中和	18	4.7	44	21	5.6	48	3	17%
南和	6	6.7	49	5	6.9	51	-1	-17%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 29-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
奈良県	1,084	76	50	1,204	88	54	120	11%
奈良	354	96	60	386	107	64	32	9%
東和	152	66	45	157	75	47	5	3%
西和	236	67	46	278	80	50	42	18%
中和	264	69	47	313	83	52	49	19%
南和	78	87	55	70	96	59	-8	-10%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 29-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
奈良県	2,923	206	49	3,297	242	50	374	13%
奈良	728	197	48	919	255	52	191	26%
東和	549	240	53	563	268	53	14	3%
西和	534	152	43	655	190	44	121	23%
中和	947	249	54	1,038	276	54	91	10%
南和	165	184	47	122	168	42	-43	-26%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資\_図表 29-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
奈良県	17,696	125	47	17,448	128	50	-248	-1%
奈良	4,317	117	45	4,492	125	49	175	4%
東和	3,186	139	50	2,728	130	50	-458	-14%
西和	4,366	124	47	4,293	124	49	-73	-2%
中和	4,672	123	47	5,305	141	52	633	14%
南和	1,155	129	48	630	87	42	-525	-45%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 29-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
奈良県	11,319	80	49	11,142	82	52	-177	-2%
奈良	2,906	79	48	3,080	85	53	174	6%
東和	2,505	110	59	2,158	103	60	-347	-14%
西和	2,521	72	46	2,599	75	49	78	3%
中和	2,668	70	45	2,897	77	50	229	9%
南和	719	80	49	408	56	42	-311	-43%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資\_図表 29-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

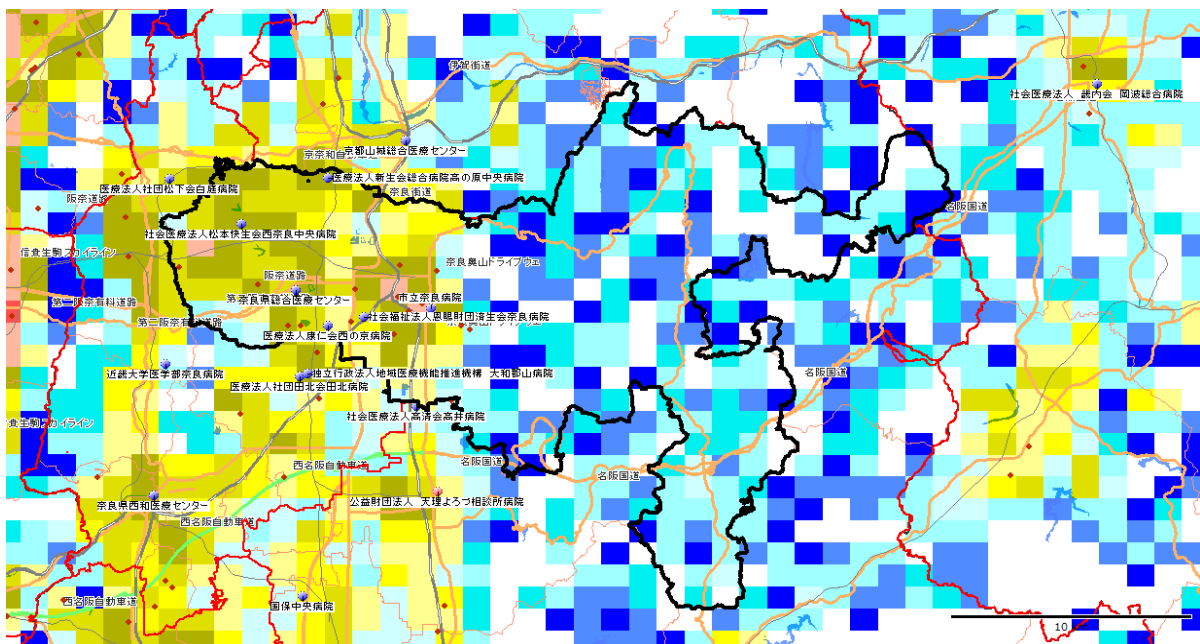
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
奈良県	3,260	26	46	3,358	18	48	98	3%
奈良	642	21	43	784	16	46	142	22%
東和	565	24	45	480	16	46	-85	-15%
西和	992	35	52	858	20	49	-134	-14%
中和	889	29	48	1,018	22	52	129	15%
南和	172	13	39	218	15	45	46	27%
出典	<療養病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <療養病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

# 29-1. 奈良医療圏

構成市区町村 [奈良市](#)

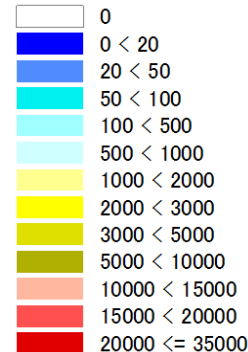
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (奈良医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 奈良(奈良市)は、総人口約360千人(2015年)、面積277km<sup>2</sup>、人口密度は1,301人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 奈良の総人口は2025年に341千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に297千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の48千人が、2025年にかけて71千人へと増加し(2015年比+48%)、2040年には71千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 奈良の一人当たり医療費(国保)は344千円(偏差値49)、介護給付費は237千円(偏差値46)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 奈良の一人当たり急性期医療密度指数は0.99、一人当たり慢性期医療密度指数は0.87で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が52(病院医師数48、診療所医師数61)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。奈良には、年間全身麻酔件数が2000例以上の奈良県総合医療センター(Ⅲ群)、1000例以上の市立奈良病院(Ⅲ群)、高の原中央病院(Ⅲ群)、500例以上の西奈良中央病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値58と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は64で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 奈良の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,124人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2,841床(偏差値48)、高齢者住宅等が2,283床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,052人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム50、軽費ホーム54、グループホーム48、サ高住56である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、1,051人(75歳以上1,000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-32%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(奈良医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

奈良医療圏の総人口は、2005年370,102人が、2015年に360,310人と3%減少し、2025年の人口が341,193人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

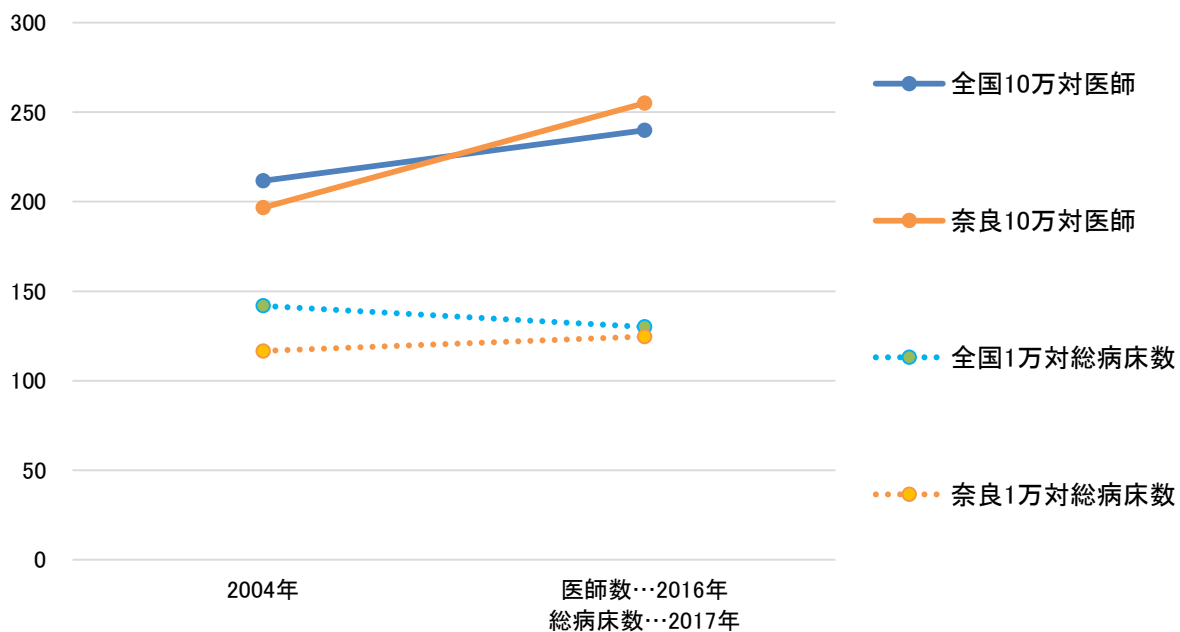
2004年の病院数が21(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2017年に23(人口10万人当たり6.4病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、13年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が354(人口10万人当たり96診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2017年に386(人口10万人当たり107診療所(全国平均80)偏差値64)と、32診療所が増加した。

2004年の総病床数が4,317床(人口1万人当たり117(全国平均142)偏差値45)であったが、2017年に4,492床(人口1万人当たり125(全国平均130)偏差値49)と、175床の増加、率にして4%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

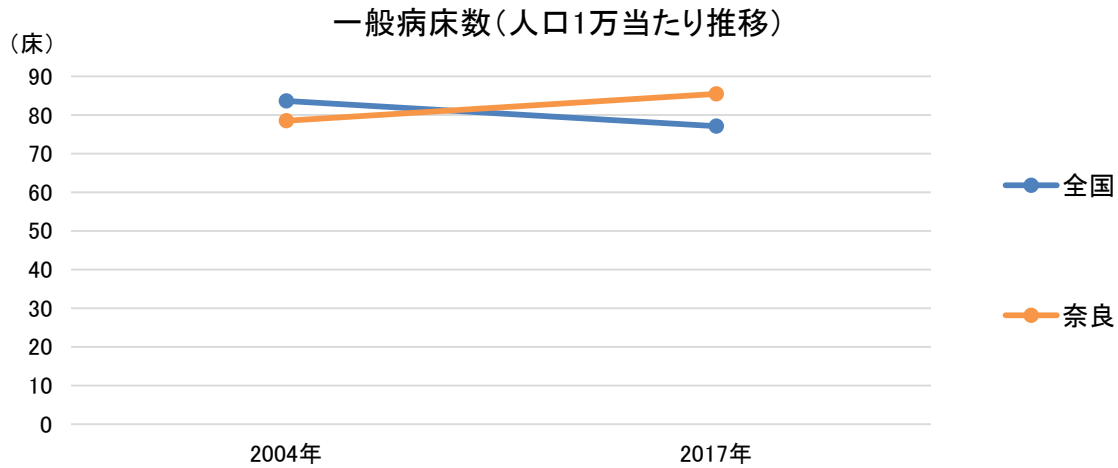
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が728人(人口10万人当たり197人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2016年に919人(人口10万人当たり255人(全国平均240人)偏差値52)と、191人の増加、率にして26%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



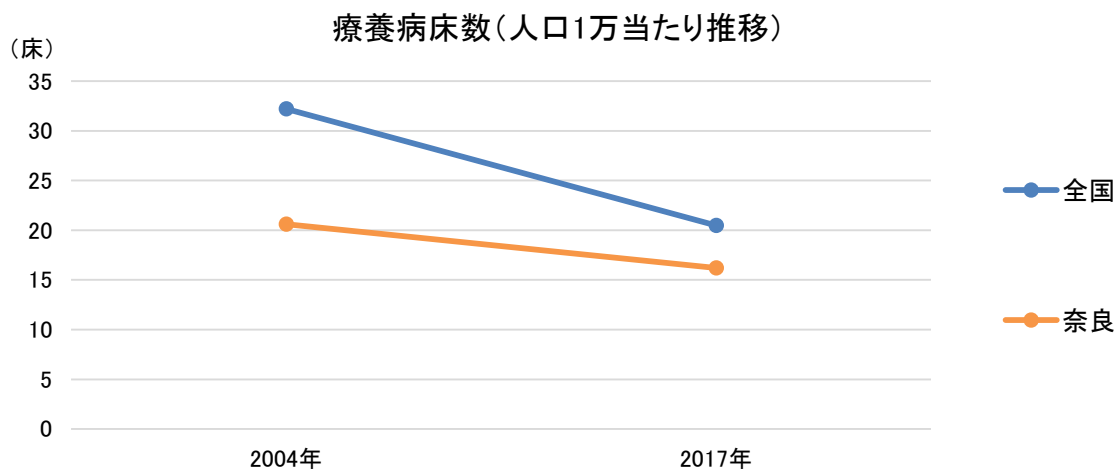
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,906床(人口1万人当たり79(全国平均84)偏差値48)であったが、2017年に3,080床(人口1万人当たり85(全国平均77)偏差値53)と、174床の増加、率にして6%の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



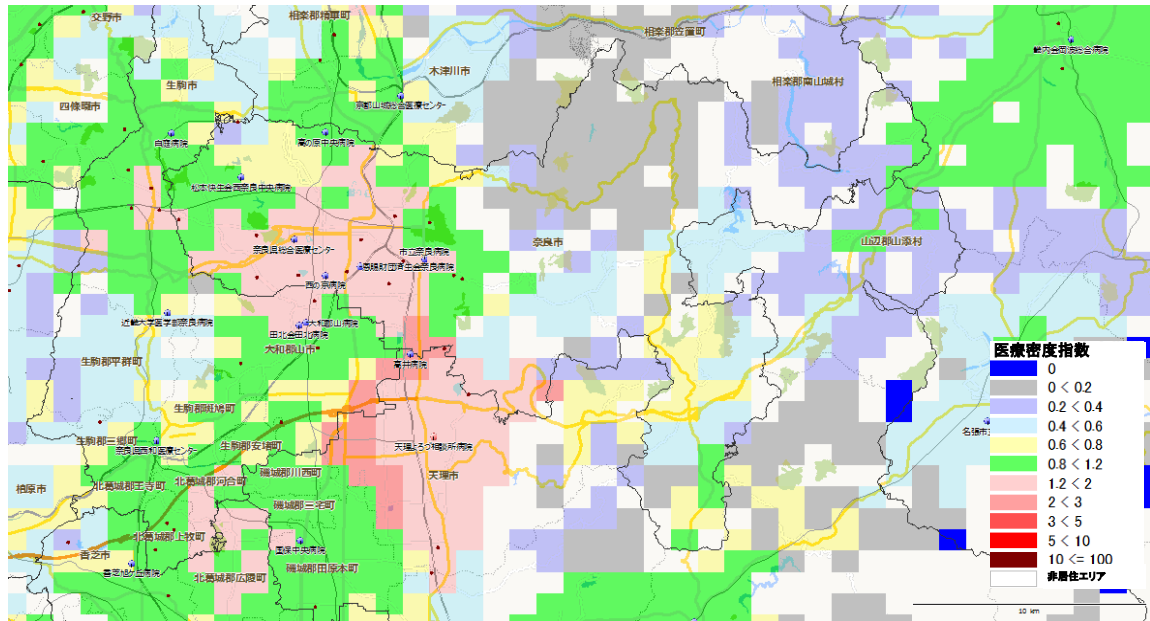
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が642床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に784床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、142床の増加、率にして22%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



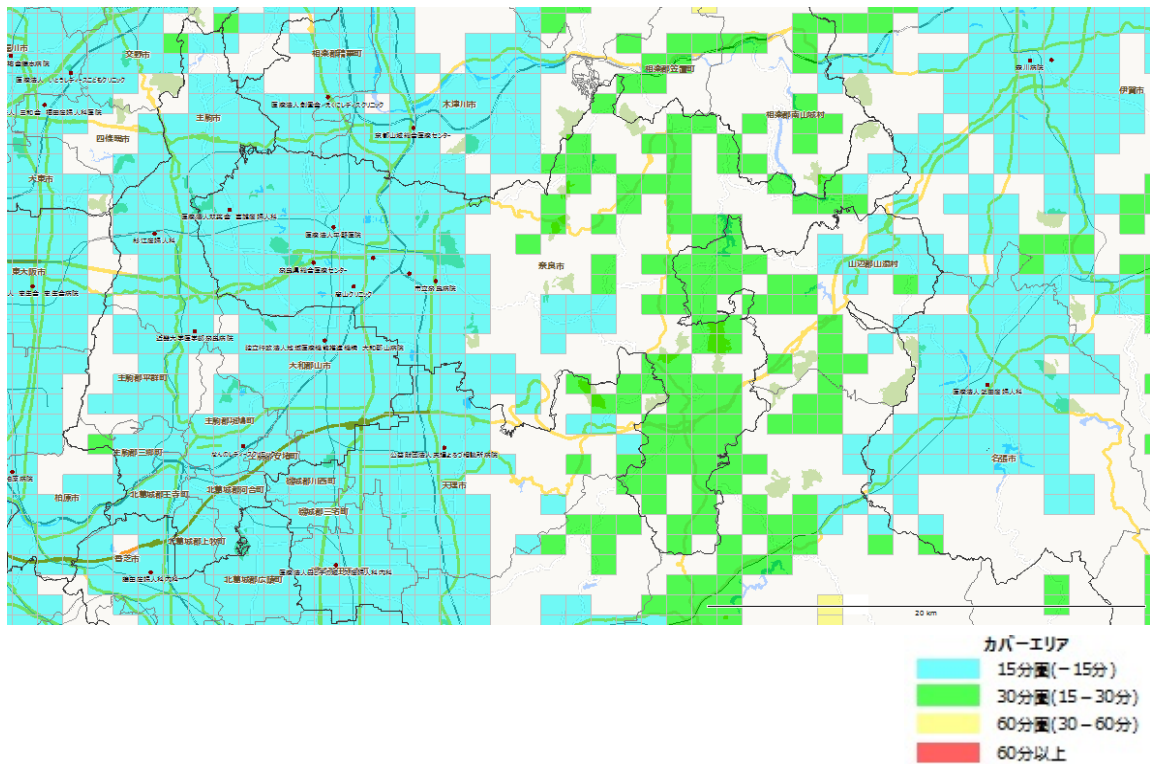
(奈良医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表29-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表29-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



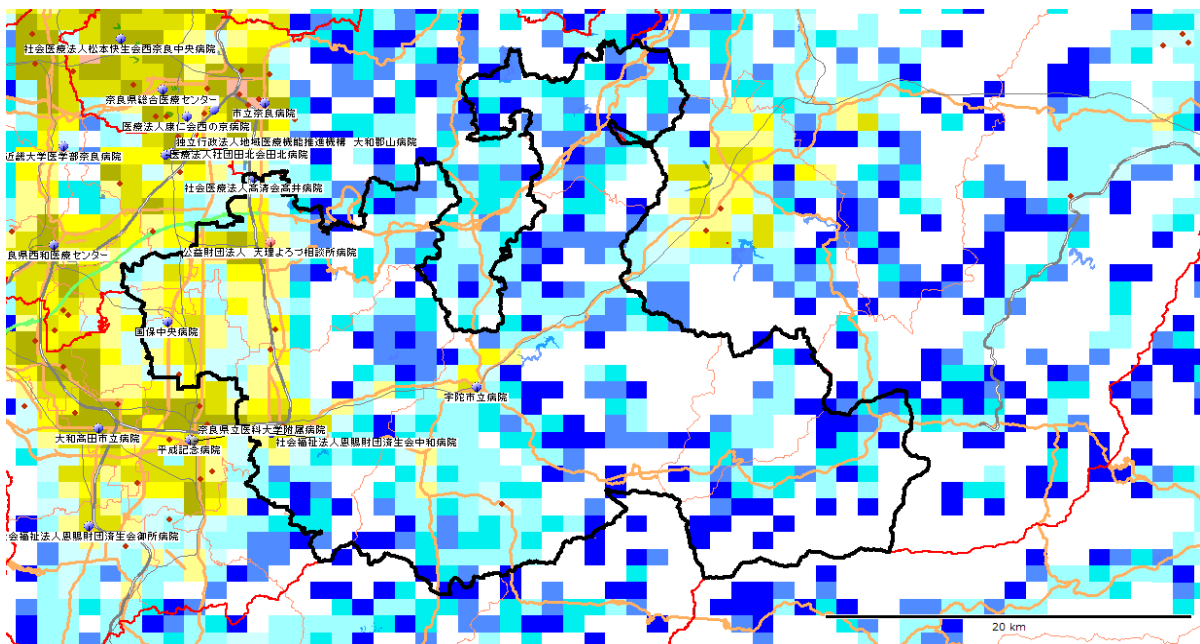


# とうわ 29-2. 東和医療圏

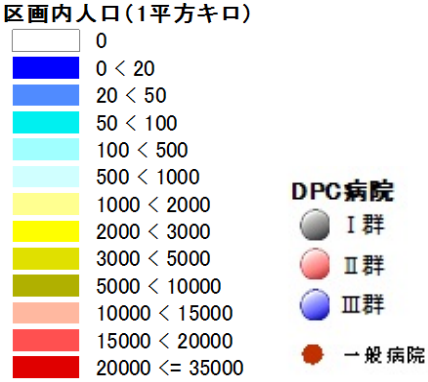
構成市区町村 [天理市](#) [桜井市](#) [宇陀市](#) [山添村](#)  
[川西町](#) [三宅町](#) [田原本町](#) [曽爾村](#)  
[御杖村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



## (東和医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 東和(天理市)は、総人口約210千人(2015年)、面積658km<sup>2</sup>、人口密度は319人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東和の総人口は2025年に187千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に149千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の30千人が、2025年にかけて38千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には36千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東和の一人当たり医療費(国保)は323千円(偏差値45)、介護給付費は257千円(偏差値51)であり、医療費はやや低い、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 東和の一人当たり急性期医療密度指数は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数は0.91で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が53(病院医師数56、診療所医師数45)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。東和には、年間全身麻酔件数が2000例以上の天理よろづ相談所病院(Ⅱ群)、1000例以上の高井病院(Ⅲ群)、500例以上の済生会中和病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値62と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は40で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 東和の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,912人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,934床(偏差値53)、高齢者住宅等が978床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,493人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム44、軽費ホーム75、グループホーム52、サ高住36である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、368人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (東和医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

東和医療圏の総人口は、2005年228,586人が、2015年に209,741人と8%減少し、2025年の人口が186,720人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

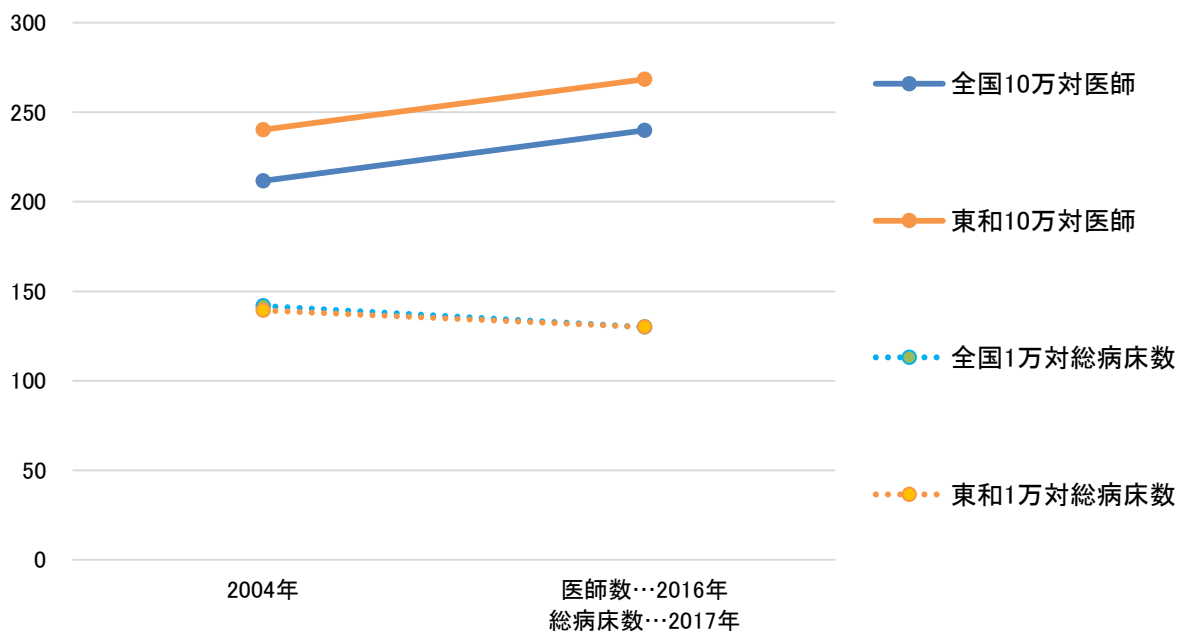
2004年の病院数が14(人口10万人当たり6.1病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2017年に12(人口10万人当たり5.7病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が152(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2017年に157(人口10万人当たり75診療所(全国平均80)偏差値47)と、5診療所が増加した。

2004年の総病床数が3,186床(人口1万人当たり139(全国平均142)偏差値50)であったが、2017年に2,728床(人口1万人当たり130(全国平均130)偏差値50)と、458床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

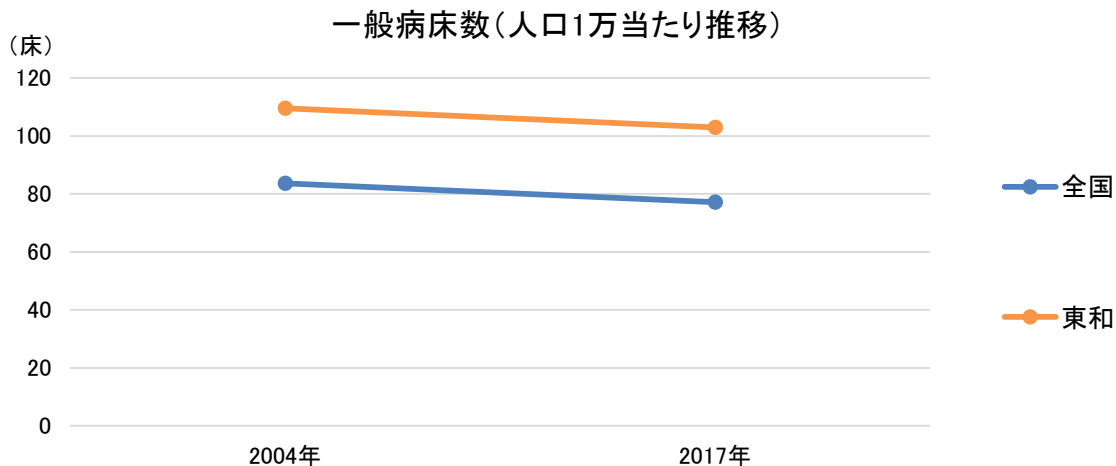
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が549人(人口10万人当たり240人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2016年に563人(人口10万人当たり268人(全国平均240人)偏差値53)と、14人の増加、率にして3%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



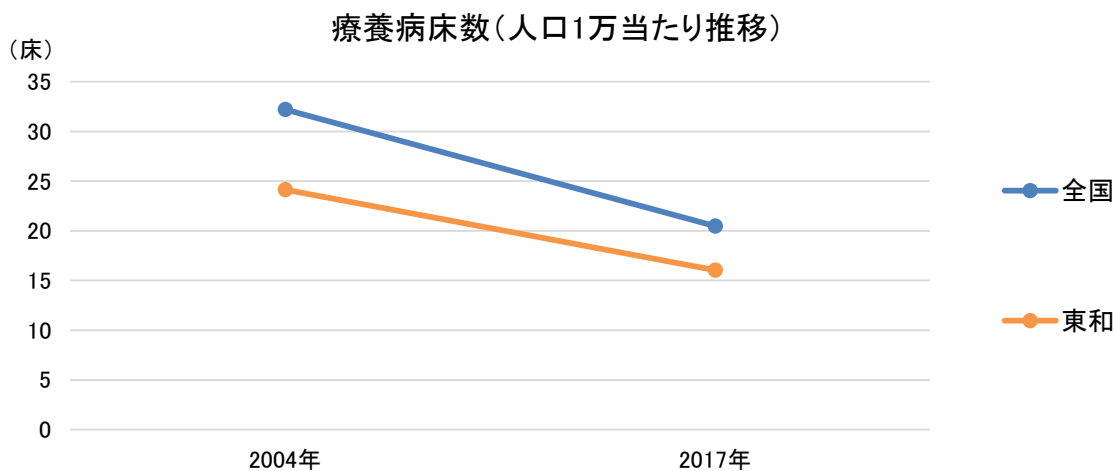
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,505床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2017年に2,158床(人口1万人当たり103(全国平均77)偏差値60)と、347床の減少、率にして14%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



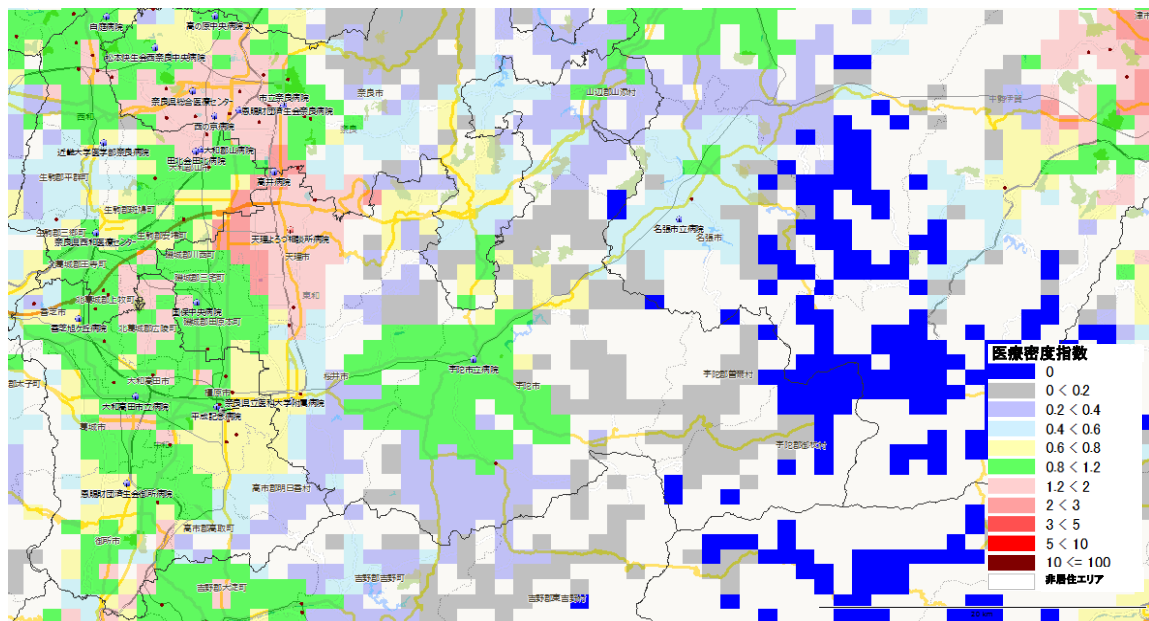
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が565床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2017年に480床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、85床の減少、率にして15%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



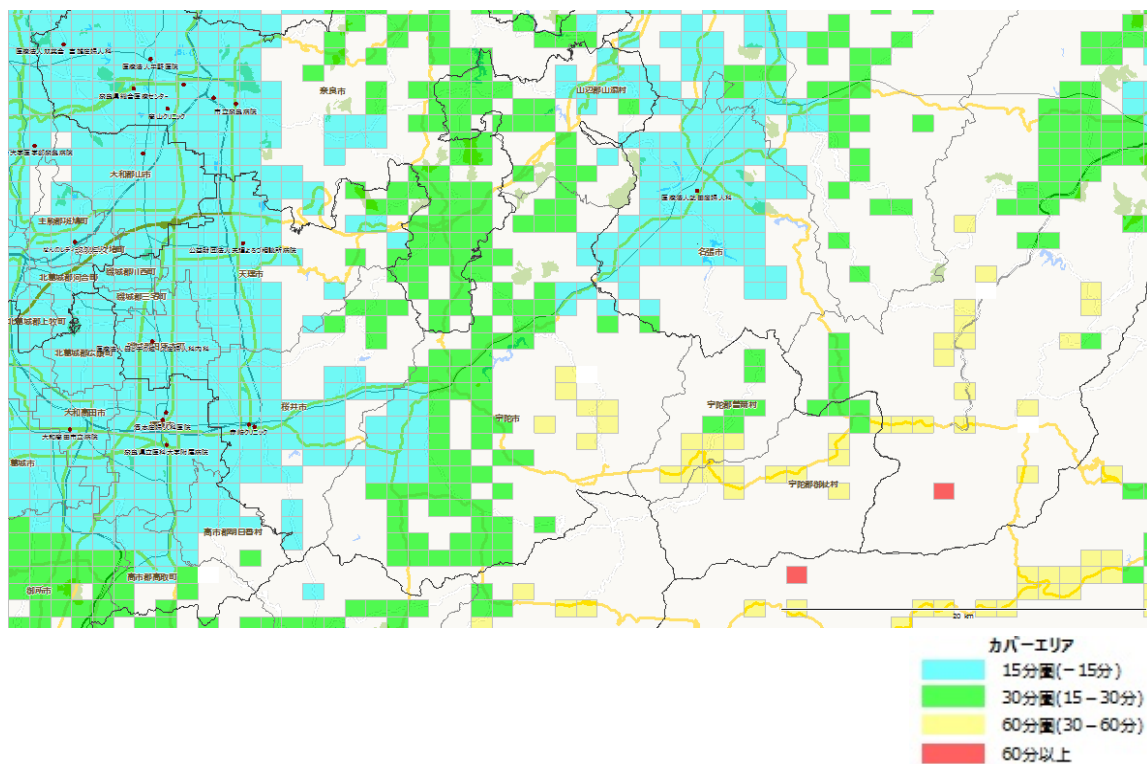
(東和医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表29-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表29-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

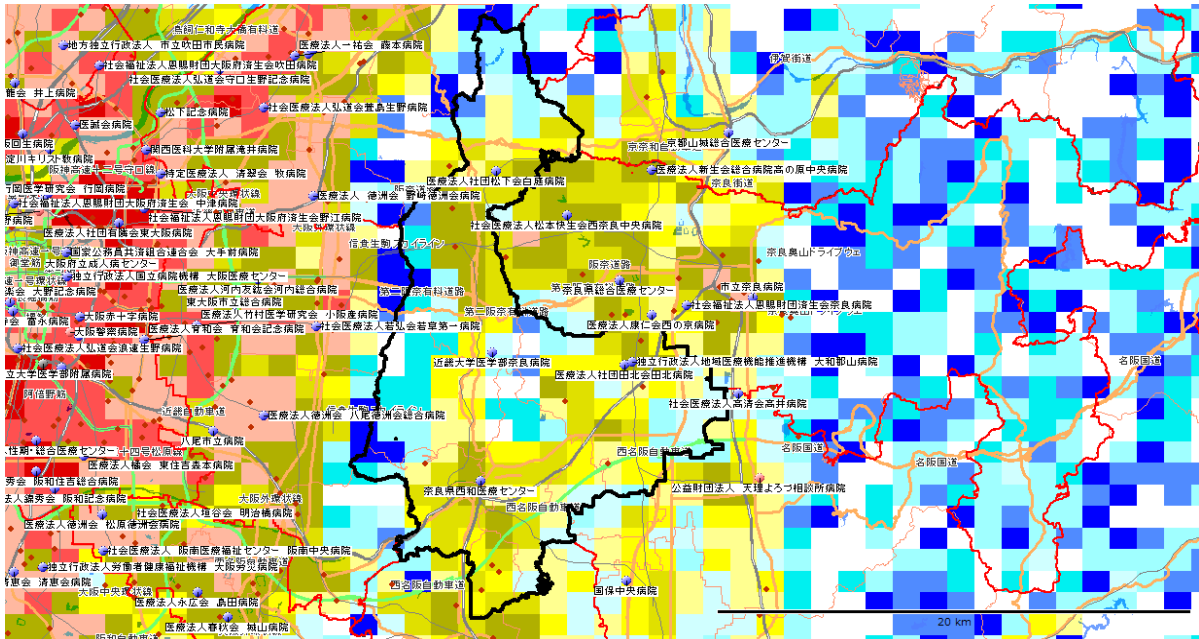


# 29-3. せ い わ 西和医療圏

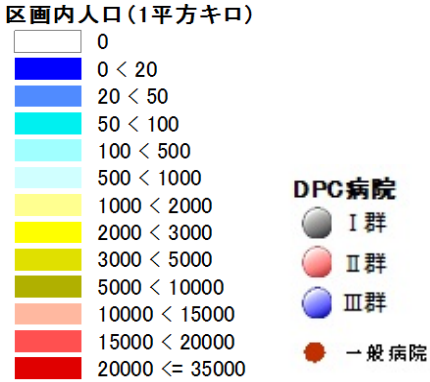
構成市区町村 [大和郡山市](#) [生駒市](#) [平群町](#) [三郷町](#)  
[斑鳩町](#) [安堵町](#) [上牧町](#) [王寺町](#)  
[河合町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (西和医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 西和(大和郡山市)は、総人口約346千人(2015年)、面積168km<sup>2</sup>、人口密度は2,051人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 西和の総人口は2025年に324千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に273千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の44千人が、2025年にかけて67千人へと増加し(2015年比+52%)、2040年には63千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 西和の一人当たり医療費(国保)は367千円(偏差値55)、介護給付費は216千円(偏差値39)であり、医療費はやや高いが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 西和の一人当たり急性期医療密度指数は0.77、一人当たり慢性期医療密度指数は0.76で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数44、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。西和には、年間全身麻酔件数が2000例以上の近畿大学医学部奈良病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の奈良県西和医療センター(Ⅲ群)、500例以上の白庭病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値56と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 西和の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,489人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,780床(偏差値52)、高齢者住宅等が2,709床(偏差値62)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,766人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム66、軽費ホーム52、グループホーム48、サ高住53である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、745人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## (西和医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

西和医療圏の総人口は、2005年351,929人が、2015年に345,503人と2%減少し、2025年の人口が323,602人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

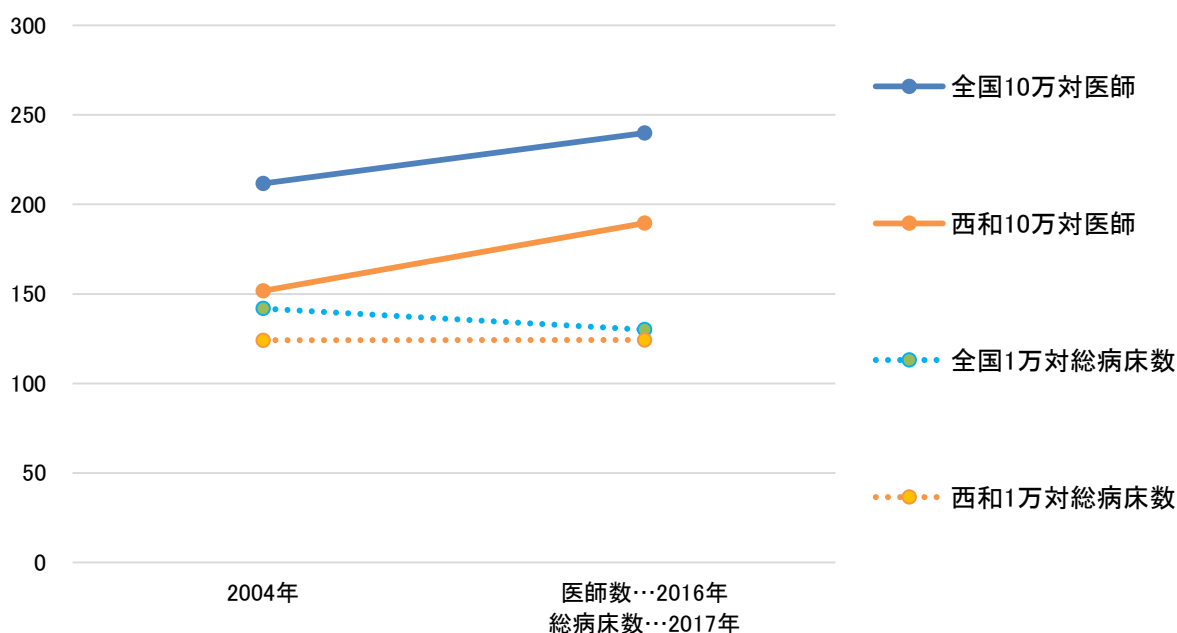
2004年の病院数が20(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2017年に18(人口10万人当たり5.2病院(全国平均6.6)偏差値47)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が236(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2017年に278(人口10万人当たり80診療所(全国平均80)偏差値50)と、42診療所が増加した。

2004年の総病床数が4,366床(人口1万人当たり124(全国平均142)偏差値47)であったが、2017年に4,293床(人口1万人当たり124(全国平均130)偏差値49)と、73床の減少、率にして2%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が534人(人口10万人当たり152人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2016年に655人(人口10万人当たり190人(全国平均240人)偏差値44)と、121人の増加、率にして23%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

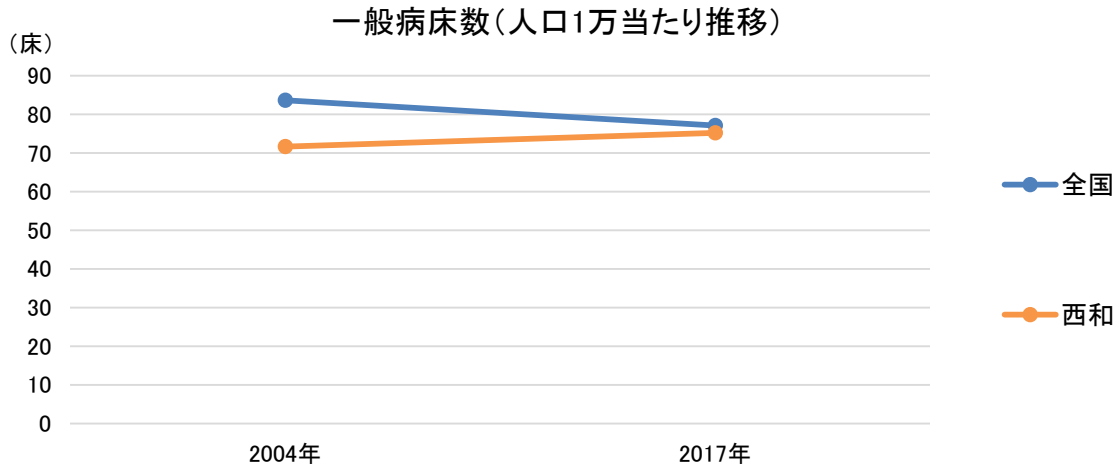
人口当たり医師数・総病床数の推移





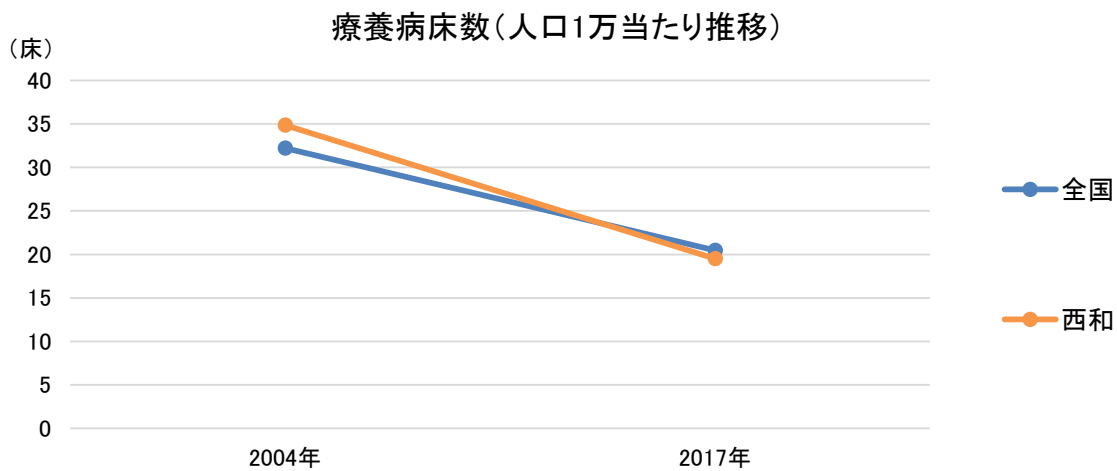
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,521床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2017年に2,599床(人口1万人当たり75(全国平均77)偏差値49)と、78床の増加、率にして3%の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



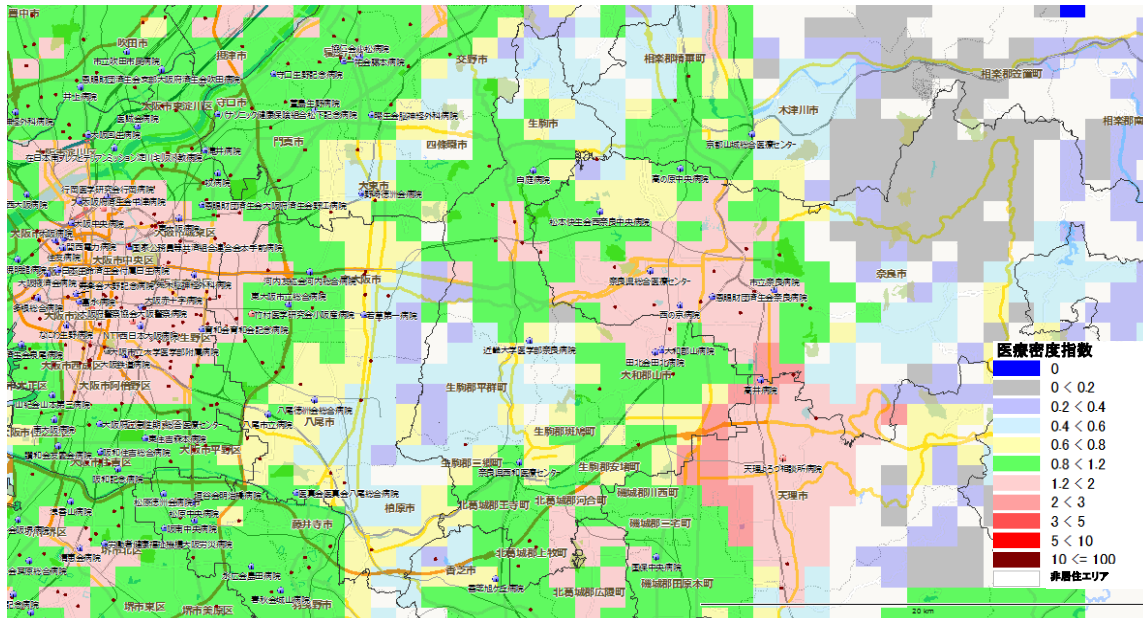
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が992床(75歳以上1,000人当たり35(全国平均32)偏差値52)であったが、2017年に858床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均20)偏差値49)と、134床の減少、率にして14%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



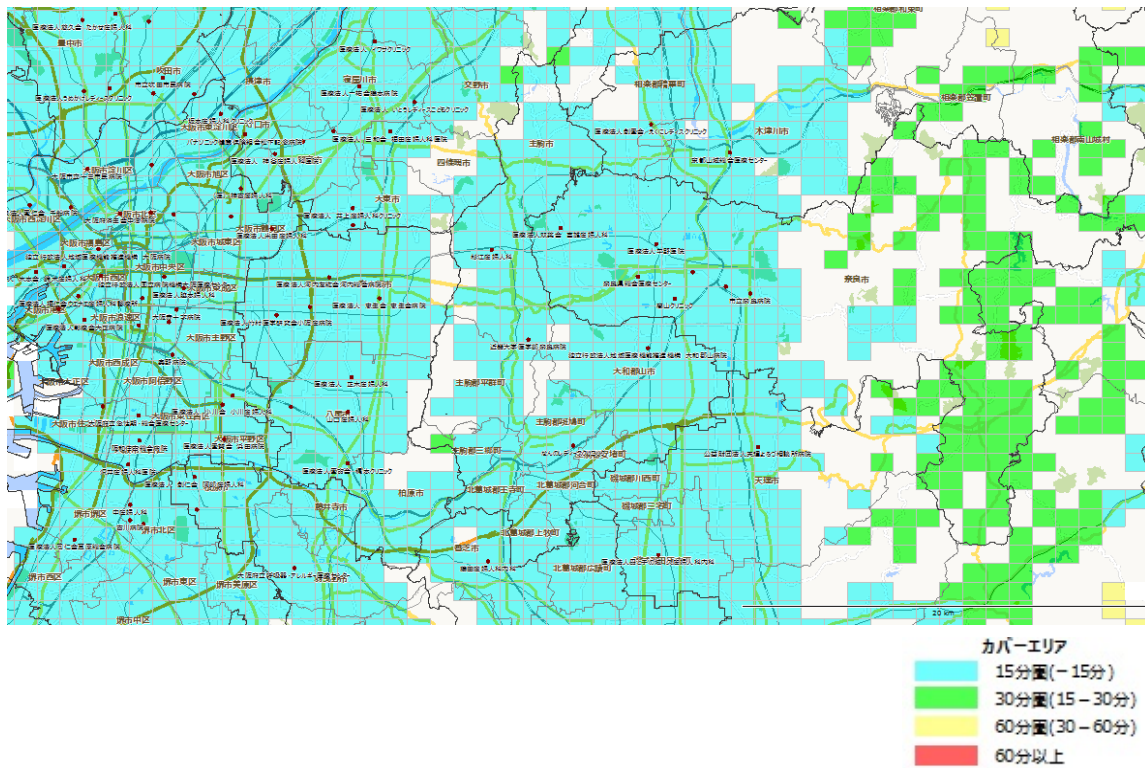
(西和医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表29-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表29-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

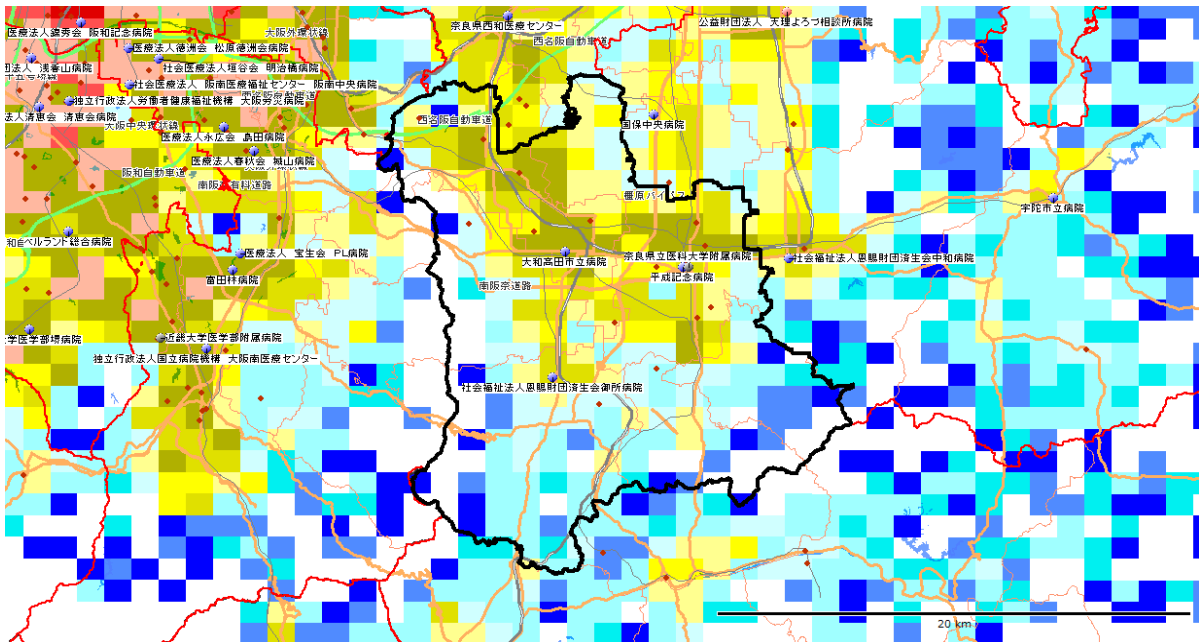


# 29-4. ちゅうわ 中和医療圏

構成市区町村 [大和高田市](#) [橿原市](#) [御所市](#) [香芝市](#)  
[葛城市](#) [高取町](#) [明日香村](#) [広陵町](#)

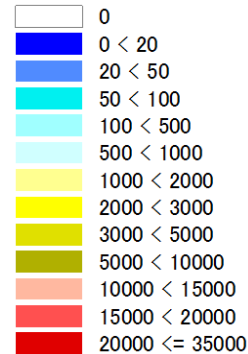
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

### 区画内人口 (1平方キロ)



### DPC病院



## (中和医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 中和(大和高田市)は、総人口約376千人(2015年)、面積241km<sup>2</sup>、人口密度は1,562人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 中和の総人口は2025年に357千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に311千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の45千人が、2025年にかけて66千人へと増加し(2015年比+47%)、2040年には66千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 中和の一人当たり医療費(国保)は333千円(偏差値47)、介護給付費は216千円(偏差値40)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 中和の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は0.64で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が54(病院医師数56、診療所医師数46)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。中和には、年間全身麻酔件数が2000例以上の奈良県立医科大学附属病院(I群・救命)、1000例以上の大和高田市立病院(Ⅲ群)、500例以上の香芝旭ヶ丘病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 中和の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,515人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,143床(偏差値56)、高齢者住宅等が1,372床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,091人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設65、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム45、軽費ホーム46、グループホーム46、サ高住45である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値41と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、756人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-28%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (中和医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

中和医療圏の総人口は、2005年380,851人が、2015年に376,197人と1%減少し、2025年の人口が356,559人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

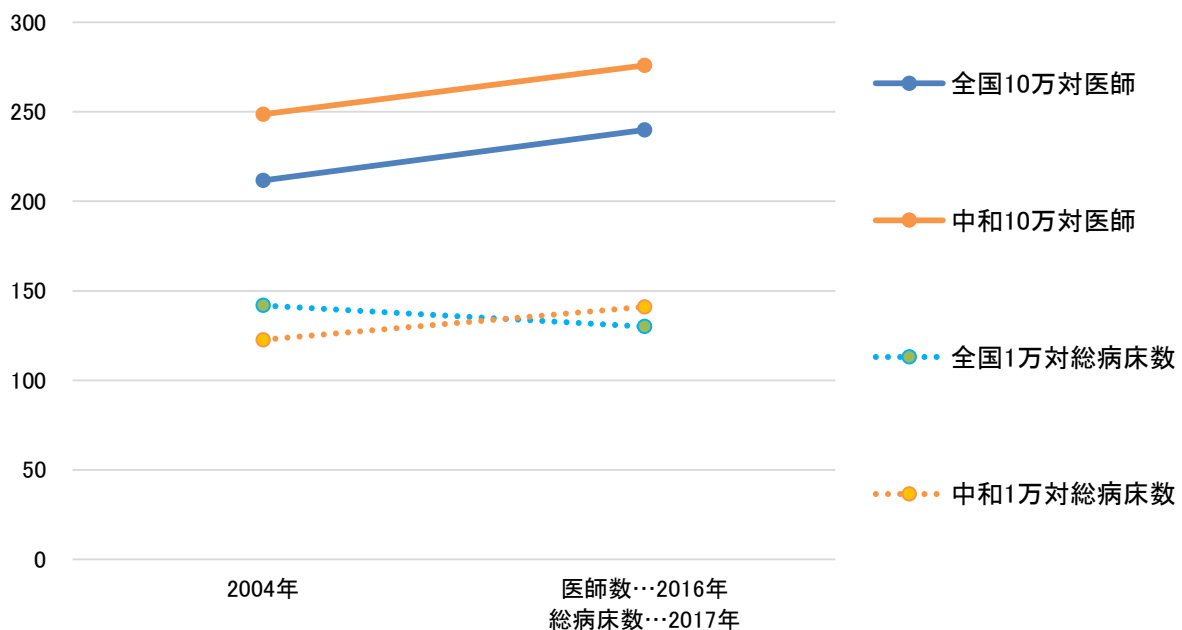
2004年の病院数が18(人口10万人当たり4.7病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2017年に21(人口10万人当たり5.6病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、13年間で3病院が増加した。

2004年の診療所数が264(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2017年に313(人口10万人当たり83診療所(全国平均80)偏差値52)と、49診療所が増加した。

2004年の総病床数が4,672床(人口1万人当たり123(全国平均142)偏差値47)であったが、2017年に5,305床(人口1万人当たり141(全国平均130)偏差値52)と、633床の増加、率にして14%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

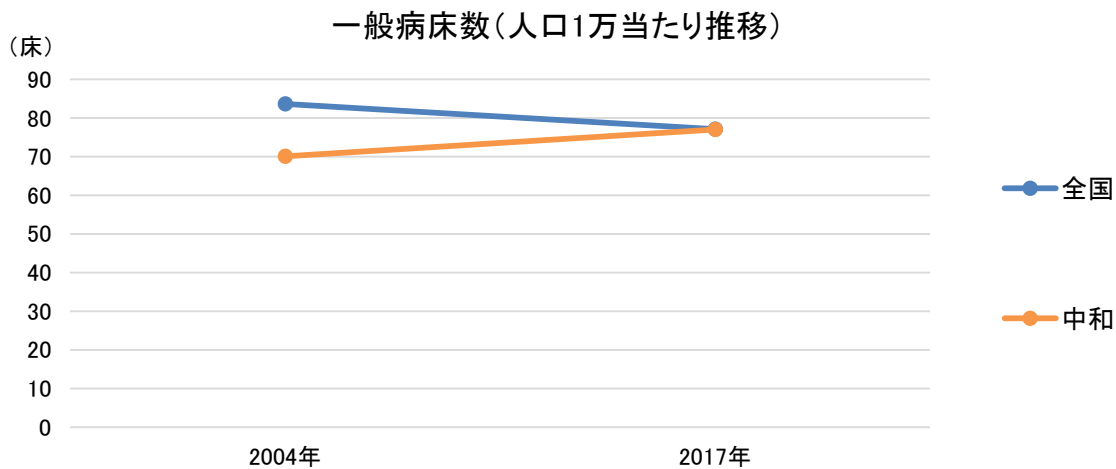
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が947人(人口10万人当たり249人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2016年に1,038人(人口10万人当たり276人(全国平均240人)偏差値54)と、91人の増加、率にして10%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



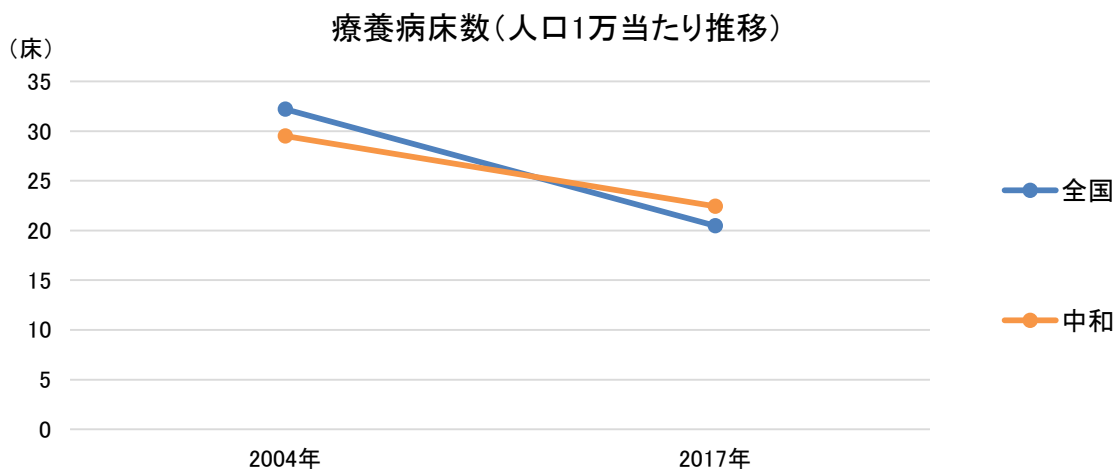
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,668床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2017年に2,897床(人口1万人当たり77(全国平均77)偏差値50)と、229床の増加、率にして9%の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



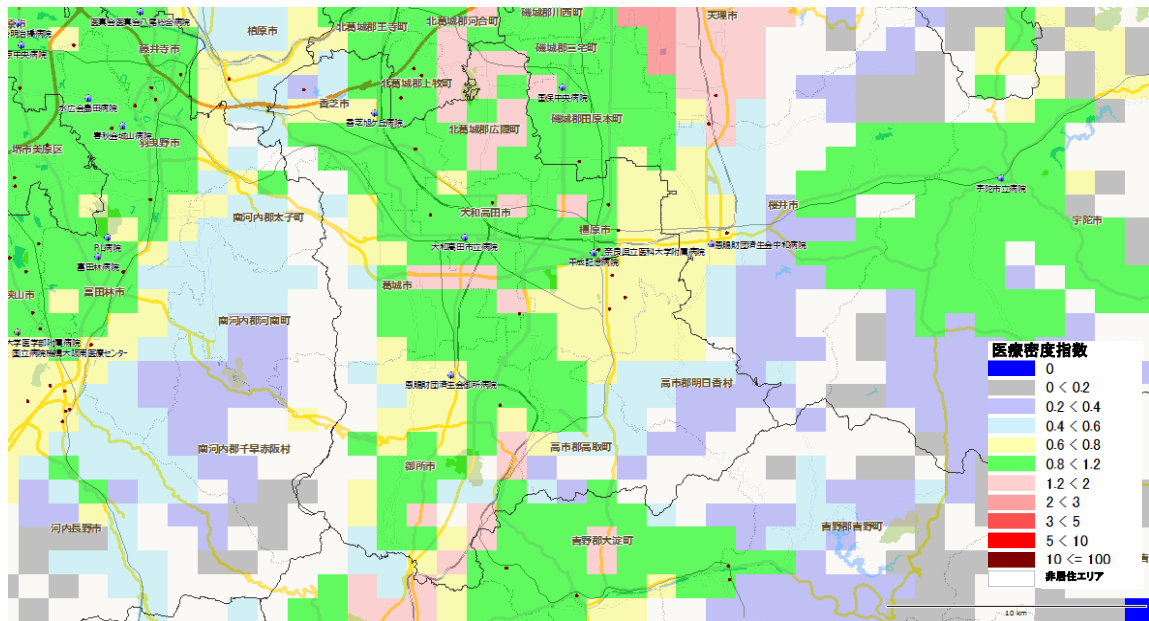
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が889床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2017年に1,018床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均20)偏差値52)と、129床の増加、率にして15%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



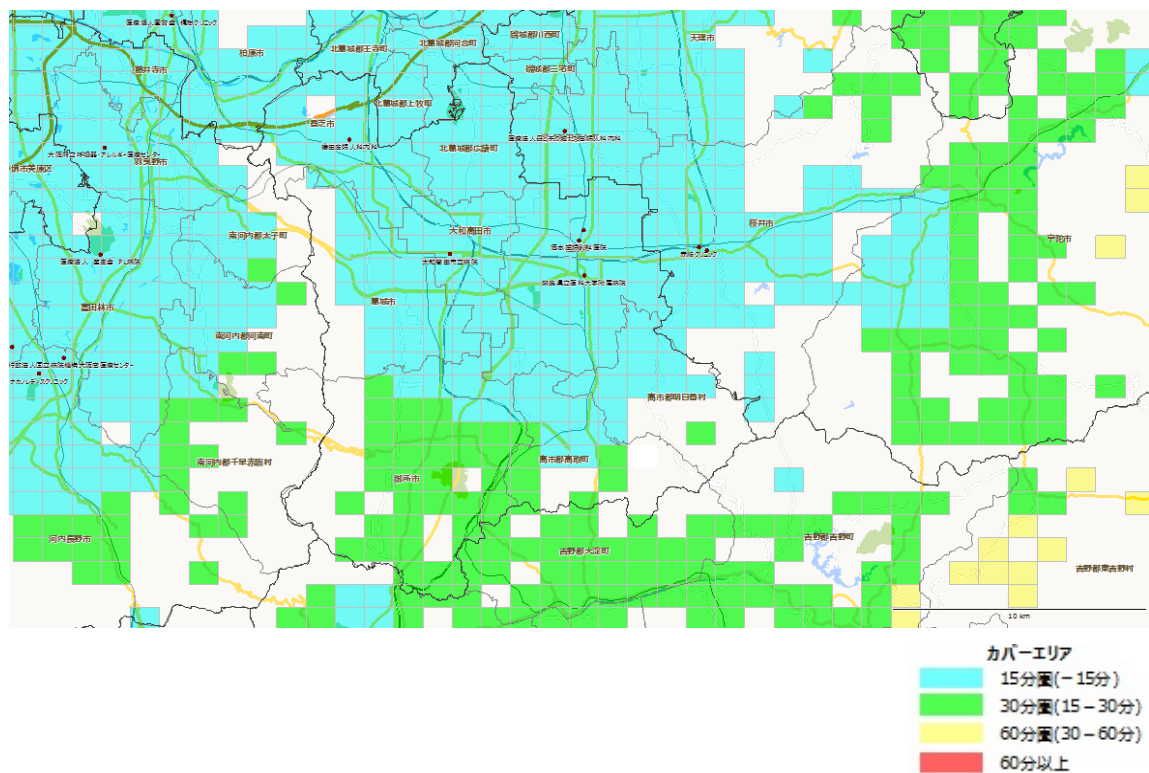
(中和医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表29-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表29-4-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

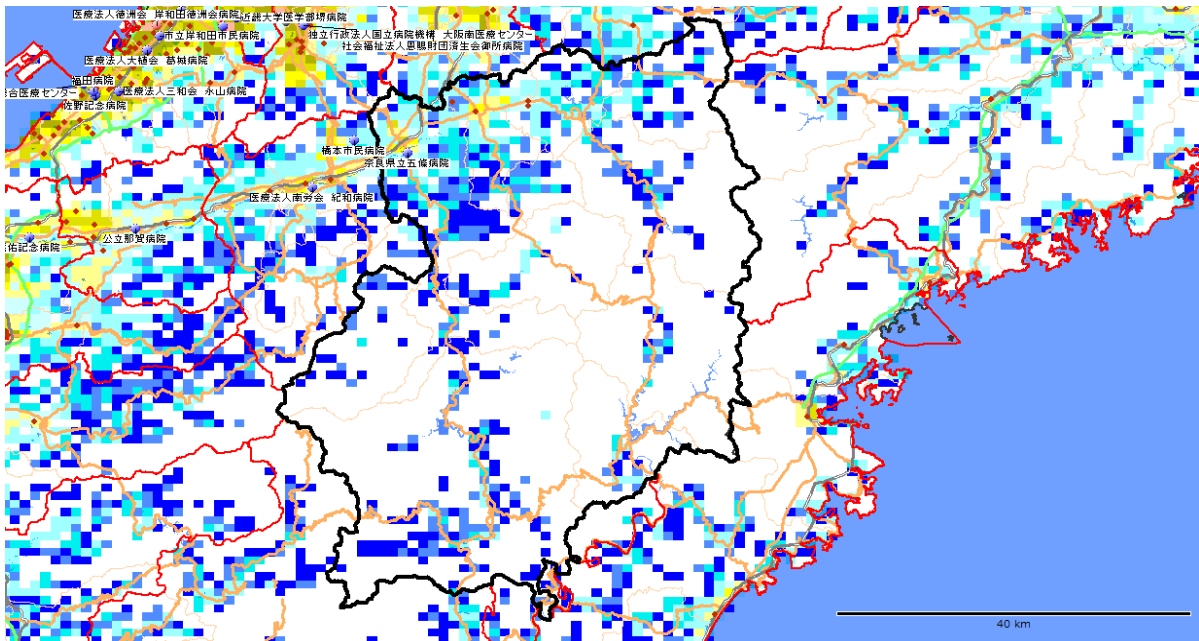


# 29-5. なんわ 南和医療圏

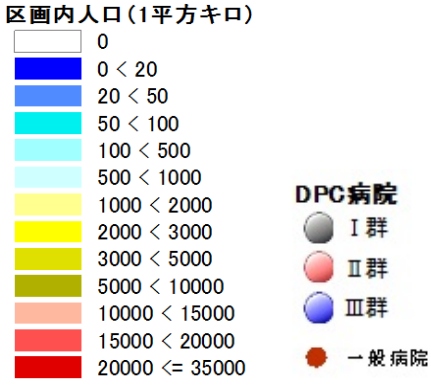
構成市区町村 [五條市](#) [吉野町](#) [大淀町](#) [下市町](#)  
[黒滝村](#) [天川村](#) [野迫川村](#) [十津川村](#)  
[下北山村](#) [上北山村](#) [川上村](#) [東吉野村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ





## (南和医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 南和(五條市)は、総人口約73千人(2015年)、面積2,347km<sup>2</sup>、人口密度は31人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 南和の総人口は2025年に57千人へと減少し(2015年比-22%)、2040年に37千人へと減少する(2025年比-35%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて15千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 南和の一人当たり医療費(国保)は350千円(偏差値51)、介護給付費は293千円(偏差値62)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 南和の一人当たり急性期医療密度指数は0.79、一人当たり慢性期医療密度指数は1.32で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数40、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は41で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。南和には、年間全身麻酔件数が500例以上の南奈良総合医療センター(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

\*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 南和の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,435人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,273床(偏差値71)、高齢者住宅等が162床(偏差値30)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,165人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム72、介護療養型医療施設54、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム47、サ高住31である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、165人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(南和医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

南和医療圏の総人口は、2005年89,842人が、2015年に72,565人と19%減少し、2025年の人口が56,500人と予測され、2005年→2025年の間に37%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%減少し、2015年から2025年にかけて12%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

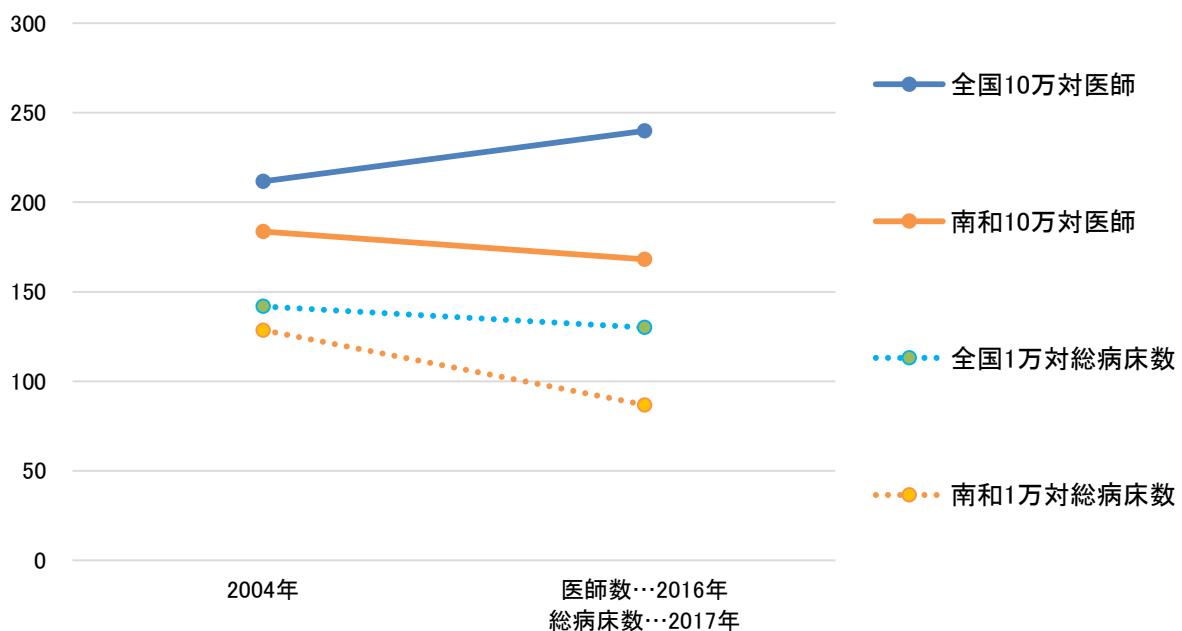
2004年の病院数が6(人口10万人当たり6.7病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2017年に5(人口10万人当たり6.9病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が78(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2017年に70(人口10万人当たり96診療所(全国平均80)偏差値59)と、8診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,155床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2017年に630床(人口1万人当たり87(全国平均130)偏差値42)と、525床の減少、率にして45%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

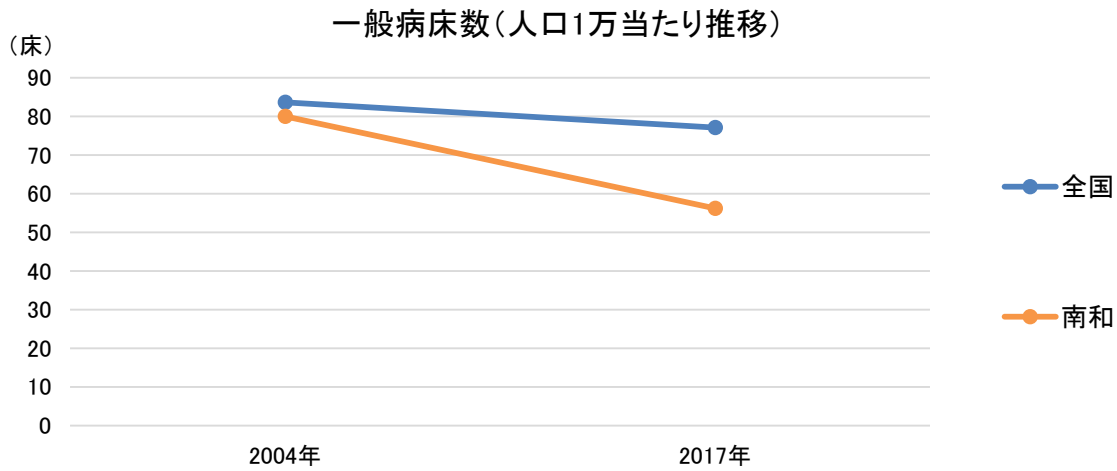
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が165人(人口10万人当たり184人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2016年に122人(人口10万人当たり168人(全国平均240人)偏差値42)と、43人の減少、率にして26%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



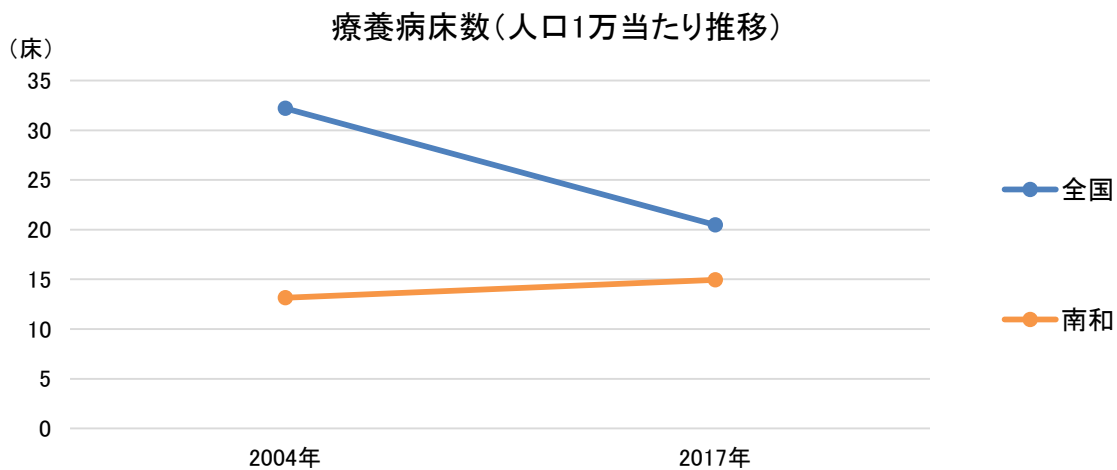
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が719床(人口1万人当たり80(全国平均84)偏差値49)であったが、2017年に408床(人口1万人当たり56(全国平均77)偏差値42)と、311床の減少、率にして43%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



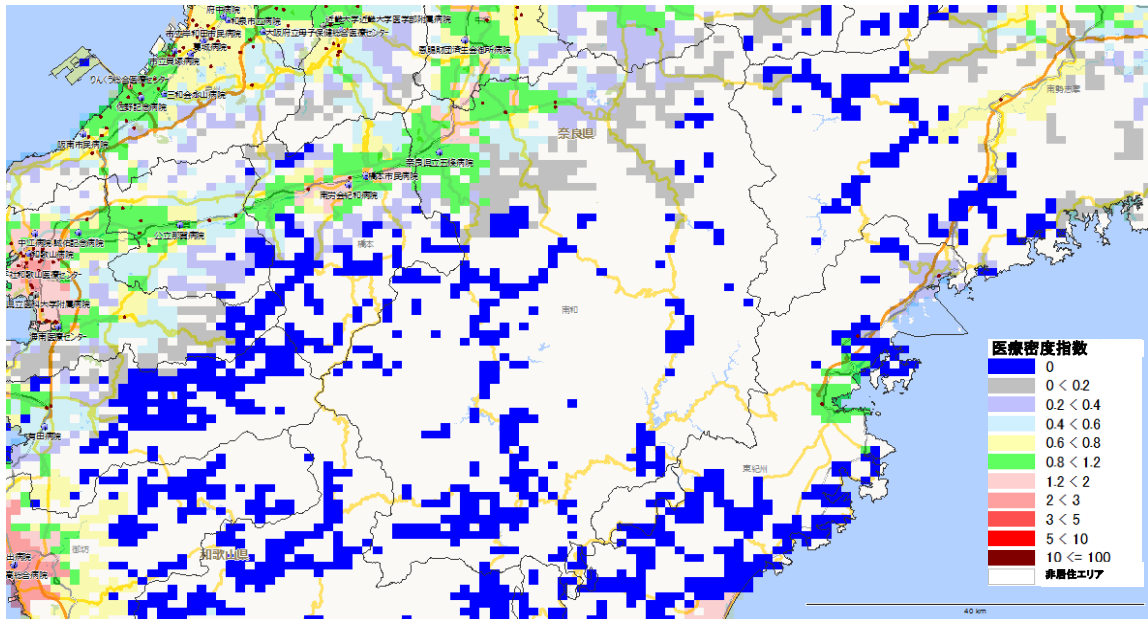
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が172床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2017年に218床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値45)と、46床の増加、率にして27%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



(南和医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表29-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表29-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

